近藤茂吉氏、三枝守博氏の葉書

短歌 鳥海山・夏

田部重治氏の書簡から 武田久吉氏の書簡から ヒマラヤ紀行・二十句 論説・研究・随想

短歌

ふたりの頂―創作絵本に添えて

ヒマラヤに挑む―私の登山観

山の切手①エベレスト

相山之良

山の切手⑥K2

相山之良

山の歌となった劇中歌「街の子」

どうして山

グライドと草棒

北岳へ



# 目録(日本山岳会)

(一九九五年六月~一九九九年七月) 自六〇一~至六五〇号

中倉家で見つかったウ師の写真―英国にもあっ 見果てぬ夢・パミールの高地 青木昇 エベレストが二メートル低くなった話 木崎甲子郎 望月達夫 末岡 睦 小荒井実 大橋克也 田畑真一 塔田也寿 望月達夫 小林碧郎 荒賀憲雄 六01 六〇五 六〇五 六〇四 六〇四 六〇四 六〇三 六〇; 六0. 六0. 六〇 六〇一 六〇五 短歌 私の山の蔵書 ウエストンとアルプスの冒険談 ウエストン追慕の小島烏水翁絶筆 ウエストン牧師の六十三年前の涙 山の切手⑤日本隊初登頂の山・Ⅱ 山の切手④日本隊初登頂の山・I 加藤大道・上高地の版画家 開発秀三 短歌 霧迅く (秋田駒にて) 大橋克也 山の切手③マカルー 山の切手②雪覇聖稜線 南会津下郷のオオカミの剥製 佐藤芝明六〇九 一九九四年八月・室堂~上高地 宮崎支部・児島実照 宇都木慎一 宇都木慎一 相山之良 柴田雄二 相山之良 相山之良 相山之良 富田健一 塔田也寿 日半 六〇八 六〇七 六〇六 六〇六 六一〇 六〇九 六〇八 六〇八 六〇五 六0九 六〇八 六〇六

> ウエストンの好物は 山の切手⑩山岳会周年記念・I 山の切手⑨登山者 世界遺産と富士山 山の切手®登山者・I ウエストンとフジヤマ パソコン通信の山情報について 理想的山男像 俳句 ひこばえや 山の切手⑦ブータンの山 高頭仁兵衛の読み方 奥只見のオオカミもどき 俳句 三水会山行 両神山 木暮理太郎翁のこと 山の余暇に山を想う 中央アルプスと山岳雪崩 谷川岳のオオカミ 五月の剱岳 山毛欅と羚羊 北川蘇遊子 富士田錬子 田畑真一 勝田房治 浅野孝一 相山之良 相山之良 西郷正郎 相山之良 田畑真一 栗林一路 相山之良 森谷寅彦 小林碧郎 松尾良久 大橋克也 山田一男 六二五 六五 六五 六一四 六一三 六一三 六二二 六二二 六二二 六二 六二 六二 六二二 六二二 六二 六二 登山における未帰還の成功

山の切手⑭世界七大陸最高峰 山の切手⑬初登頂周年記念・Ⅱ 百周年記念山岳図書展の開催を願う ウエストン夫人と嘉門次 短歌 滝の小屋にて 三田幸夫氏からの手紙 山の切手⑫初登頂周年記念・I 日本山岳会の歩みの中から 田畑真一 山・人と地質に 川崎精雄 相山之良 六一八 相山之良 神戸信和 相山之良 六一五 大橋克也 相山之良 六一七 六一六 六一七 六一六 六二六

樹形にみる森林の生き残り戦略 山の切手⑮クルト・シュロッサー 福島・群馬・新潟三県による尾瀬総合学術調 俳句 三水会第二十回山研集会にて の歌になったのか? 小さな自然保護 テントと星空 八甲田山 ・岩木山 早池峰山頂の合唱会 坂倉登喜子 南 平吉 川崎精雄 相山之良 小林碧郎 宮下啓三 六 六 八 八 六一九 六一八

ウエストン明治二十三年一月以降 山の歌「街の子」と交野武一さんに想うこと 早乙女緩次 田畑真一

その後の自然エネルギー利用発電 アルバータ峰のピッケル **大森弘一郎** 芳賀孝郎 六三 六三

K・ディームベルガーと雲取山の小鬼

山の切手⊕山岳会周年記念・Ⅱ

俳句 かかり藤

アンナプルナ・トレッキング 西上州父不見山 小林碧郎 岡澤祐吉 六三

ネパール・日本国交樹立四十周年記念切手発 山の歌の変遷 ウエストンと槙夫妻の写真 短歌 三方倉山・一月 田畑真一 大橋克也 村田彰二 六三 六三

ウエストンが著書をウォルトンへ マナスル初登頂四十周年記念切手の後日

談行

知床羅臼岳 木暮先生碑前懇親会と黒富士登山 広渡敬雄 六六

田畑真一

Ш 山の展望と地図のフォーラム・FYAMAP 短歌 日本的「登山」とクライミングの違い 三角点の顔について 再び映画「マナスルに立つ」を見て 理事黒田孝雄氏との山行 ウエストン師の熊本でのクリスマス祭と幻灯 俳句 早池峰と大峰山上ヶ岳 外国人登山者について 八月号の巻頭原稿について ウエストンとモースの所蔵写真 忘れられていたピッケル 日本的登山とクライミングの差について の表彰と楽しみ方 翔ぶ和蘭人異聞 各務氏と槙・松方両氏を結ぶ **【空へ―エベレストの悲劇はなぜ起きたか】を** 南極観測と地球環境 第3次南極観測隊 大正二年の上高地こぼれ話 インターネットの利用あれこれ 極私的登山観 俳句 初秋の吾妻連峰 クライミングの潮流についての考察 短歌 大台を行く 死んで花実が咲くものか 公募登山と明日のヒマラヤ 日高信六郎さんとの旅 山小屋にて 越冬隊長・横山宏太郎 六三四 北川蘇遊子 六二六 古市 小林碧郎 村井 葵 鷲頭 隆 江本嘉伸 原謙一 川崎精雄 多田真弘 六二六 川崎精雄 多田真弘 村田彰二 坂下直枝 長田光義 広渡敬雄 柴田篤志 水野公男 柳沢昭夫 田畑真一 名越礼子 杉江健介 西郷正郎 藤田友生 大橋克也 関塚貞亨 進 六三四 大三三 六二六 六三三 六三 六三 六二七 六三四 六三四 六三: 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇 六二九 六二九 六二九 六二八 六八 六二八 六二八 六二七 六二七 俳句 早春の上州・吾妻耶山 外国人登山者のこと アルバータ初遠征の動機となった一冊の本 半世紀前の学生山岳団体に対する新聞論調 短歌 山に咲く花 アイガー北壁の日本ルートをめぐって 俳句 六月鉢ノ木雪渓をゆく 詩 こぶし 若い会員がなぜ増えないかを考える 検証「静かなる山」第二部 検証「静かなる山」第一部 【樹林の山旅】 ひとこと 登山界の国際性を考える 『樹林の山旅』 再考 「大正二年の上高地こぼれ話」の誤りについて 俳句 尾瀬晩夏 俳句 赤牛岳山行 山書の重み JACを考える 「樹林の山旅」という本について 一本の「山内」のピッケル PART・I 自分自身の問題として についてご紹介します 集会委員会 イカルチェック P A R T · II 中高年登山者の問題点を考える 山本健一郎 山本健一郎 中世古隆司 広渡敬雄 浅野孝一 柴田篤志 柴田篤志 西山秀夫 逸見征勝 六四三 岡澤祐吉 安藤忠夫 神崎忠男 北村武彦 小倉董子 逸見征勝 石田稔郎 広渡敬雄 荒賀憲雄 石岡慎介 小林碧郎 吉川明秀 村井葵 六四二 六四四 六三七

六三六 六三六 六三四 六三六 六三五 六三五 六三五 六三五 「老化は足から来る」は本当か?

中高年登山者の体力とメデ 六三七

PART・Ⅲ 中高年のためのトレーニン PART・Ⅳ アンケートより中高年企画 山本正嘉 六三七 大森薫雄 六三七 六三七

六三八 六三八

六四 六三九 六四 六四〇 六三九 六三九 六三八 六四

山本朋三郎 六四三

同名異本に思う 三水会雪嶽山山行 泣面山 (宮城県) 部子山のスケッチ -諏訪多栄蔵氏を 早乙女緩次 吉武玲子 川崎精雄 六四五 鷲頭 隆 琴尾泰典 加賀要子 六四六 六四五 六四五 六四四

赤シャツ今昔物語 行の地図の考察 事故を起こさないために チベット幻想 短歌 群れぬ矜持を 東京支部と山の歌の頃 高所登山成功への道 四つの星座 宮沢賢治・終焉のロマン「経埋ムベキ山」と ガンカー・プンスム峰周辺のブータン政府発 山座同定を楽しむ 俳句 信州独鈷山・塩田平 短歌 夏山にて 矢羽々文一郎 夏山の気象を知ろ 早乙女緩次 清水輝和子 六四九 柳下棟生 広渡敬雄 山本正嘉 斎藤惇生 六四九 逸見征勝 大橋克也 神谷恭平 六四九 六四八 六四八 六四八 六四八 六四八 六四八 六四八 六四七 六四六

## 海外通信

短歌 人通わねば

大橋克也

六五〇

カムチャツカ半島最奥の村エッソへの旅 ガ(ゴ)ンドコロ峠越え ミッテルレギ稜にて 遥かなるマウント・シャクサン 福岡支部・堤甚五郎 増田昌士(司) 砂田定夫 六〇六 六〇五 六〇四

ニューデリーから海外委員会の皆様へ 名誉会員章をつけたサムエル・ブラヴァント 中垣淑子 六〇七 岡澤祐吉 六〇九

カザフスタン・キルギスタンのトレッキング

飯田 進

六〇六

マレーシア山岳協会とエベレスト計画 梶 小林岳彦 正彦 六二五

ピレネーの旅・ペルディグエロ 二十年ぶりのインド 麻生由紀子 六 六 六 六 六一七

英国山岳会を訪ねて・一九九六年五月 芳賀孝郎

感動を求めて・マッターホルンにて 六一九

ゴーキョ谷の遭難碑建立に参加して チベット高原走破の旅 竹内哲夫 砂田定夫 六二九 六一九

ヒマラヤ展望トレッキングで喜寿祝い 梅里雪山一周巡礼路の旅 アルタイを歩く 中村 保 中垣淑子 中谷絹子 柴田初子 六二 六二 六二

アメリカ山岳センター・アメリカ山岳会訪問 二年半ぶりのネパール 井上 晃 鹿野勝彦 六二 小林岳彦 六二七 六三

ヤルフン河源流域踏査隊97だより 中国・新疆北部の旅 ハラス氷河は遠かった 雁部貞夫 六二九

新疆巴音布魯克草原と中部天山山麓の旅 還暦のマッターホルン 矢野弓之介 六三二 奈良原町子 六三〇

楼蘭探訪 天空の峰 カラコルムポーター事情 大谷探検隊以来八十七年 飯田進 中垣淑子 六三二 六三

ファン山群を歩く パプア・ニューギニアの山旅 チベットにて 中垣淑子 上野幸人 一力英夫 六三五 六三三 六三五

ムスターグアタ峰登頂から 堀田暁彦 川越尚子 六四一 六三七 スイスアルプスの博物館を訪ねて

山	65	1-	199	9 ·	8 ·	20	(第	三種	<b>重郵</b> 1	便物	認可	1)																									
野鼠との遭遇を不利を対している。	入澤武昭	第六回海外遠征隊 新島・式根島	二三〇〇メートル級の山 南川金一 六二六	り頒布のお知らせ 六二五	山梨県芦安村誌「南アルプスの登山史」別刷	秋山郷・鳥甲山を讃える 松岡 繁 六二四	小荒井実 六二三	「雄国沼を考える」シンポジウムに出席して	魅力と喜びの。ついたち、登山 松岡繁 六二一	白神山地行 川上隆六二一	遥かなり「天上倉山」 岡田光行 六一九	荒川三山から明石岳の還走 松岡 繁 六一八	白神山地の旅 中村純二 六一六	真っ白なミヤマキリシマ 井野元繁 六一四	小さな頂 野田四郎 六一三	心晴れ晴れ、快哉の思親山 松岡 繁 六一一	白山の黒百合に埋もれて 小出和子 六〇九	松岡 繁 六〇七	元老と熟年会員北奥千丈岳に登る	登り残していた山、悪沢岳 橋村一豊 六〇五	厳冬の山伏岳から八紘嶺還走 杉岡繁 六〇三		国内说作			海外山岳二百登頂を達成して 脇坂順一 六四九	モロッコの旅雑詠 伊佐九三四郎 六四七	礼状が届きました 松田雄一 六四七	ネパール・日本研究センターへの図書寄贈に	憧れのマッターホルンに登る 植木淑美 - 六四六	パキスタン、フンザの旅 上野幸人 六四六	〇三年!     六四五	建設中のポカラ国際山岳博物館 完成は二〇	熊崎和宏 六四三	カナダ山岳会年次総会および晩餐会に出席	憧れの冬期マッキンリー 栗秋正寿 六四二	モンゴルのエーデルワイス 坂倉登喜子 六四一
The Black Cloud (L.D.S.Thomson著)	茂見 猛 六〇三	ナムチャバルワ初登頂(読売新聞社編)	渓峰閑話(西尾寿一著) 茂見 猛 六〇三	平井吉夫 六〇一	志賀重昂―回想と資料(戸田博子編)	大橋 晋 六〇一	山からのたより(奥日光写真クラブ編)	山を歩けば(共同通信社編) 飯田 進 六〇一		◆一般図書		区 重新グ	以上ラカロノー		杉山さんの時代 児玉 茂 六四九	水越武さんにふたつの朗報 杉本 誠 六四九	「水雲山三峠大権現」を捜す 長澤 洋 六四六	オボコンベ山に登った! 李 宅淳 六四六	水雲山三ッ峠大権現 山本健一郎 六四五	魅力の南アルプス縦走 松岡 繁 六四四	二二〇〇メートル級の山 南川金一 六四四	遠山元信 六四四	原三角測點に説明碑(奥秩父・雲取山)	土橋進一 六四三	武田久吉メモリアルホール尾瀬に開館の運び	芳賀孝郎 六四三	W・ボナッティとの四十年ぶりの再会	島の山巡り・その2 中村太郎 六四三	信じられない遭難 杉江健介 六四二	上高地の地震福山美知子「六四一	「大島」の山巡り 中村太郎 六三七	の登山規制 小荒井実 六三七	火山性有毒ガス事故防止のための安達太良山	今熊山 大橋克也 六三六	三井嘉雄 六三二	戸隠村にミセス・ウエストン碑建立	赤薙山から女峰山の縦走 松岡 繁 六三一
村の記憶(山村調査グループ編)	石田稔郎 六〇九	写真集 北朝鮮の山(飯山達雄編)	玉江構成・文) 林 栄二 六〇九	グリンデルワルト便り(中島正晃発信・土田	伯富男追悼集編集委員会編)茂見 猛 六〇八	芦峅の自然児・トンコ―佐伯富男追悼集(佐	藤平正夫 六〇八	山と信仰・立山(広瀬誠・清水巌共著)	ねて 南井英弘 六〇八	テムズとともに英国の二年間・修験の山を訪	南井英弘 六〇六	Guide (Andrea Gabbard著)	Lou Whittaker Memoirs of a Mountain	平井吉夫 六〇六	パタゴニア探検記(高木正孝著)	信仰の山(吉村迪著) 山口裕一 六〇六	飯田 進 六〇六	人はなぜ道に迷うのか(山口裕一著)	藤則芳著) 越田和男 六〇六	森の聖者―自然保護の父ジョン・ミューア(加	渡辺玉枝 六〇五	山の頂の向こうに(田部井淳子著)	羽田栄治 六〇五	山は魔術師―私の山岳写真(田淵行男著)	編) 山口裕一 六〇五	今西錦司初期山岳著作集 初登山(斎藤清明	三四郎著) 細井澄子 六〇五	キリマンジャロの石―辺境の山・旅(伊佐九	東西登山史考(田口二郎著)小川益男(六〇四)	細井澄子 六〇四	これなら安心・山歩き入門(小倉董子著)	地図の遊び方(今尾恵介著)山口裕一 六〇四	有峰物語(飯田辰彦著) 三好まき子 六〇四	尾瀬に死す(平野長靖著) 蜂谷 緑 六〇三	America (Fred Beckey著) 越田和男 六〇三	Mount McKinley Icy Crown of North	山口裕一 六〇三
定年後は山歩きを愉しみなさい(小倉厚著)	り (内田陽一著) 林 栄二 六一三	知命からのヨーロッパ・アルプス―希望と祈	著) 飯田 進 六一三	初登頂―花嫁の峰から天帝の峰へ(平井一正	トル峰を登る(Mark Bles著) 三沢一三 六一二	In Search of Limits アルプス四〇〇〇メー	佐々木民秀 六一二	秋田六百三十一山全登頂記録(阿部暁雄著)	松沢節夫 六一二	アルプスの氷河を滑る(熊谷榧著)	和平著) 林 栄二 六一二	ヤポネシア抒情紀行 神様のくれた魚(立松	平井吉夫 六一二	雲の上の診療所(大森薫雄著)	南井英弘 六一一	Rock Climbing in Oman (R.A.McDonald著)	泉久恵六一一	五十歳からまた始めた山登り(谷本蝉丸著)	隅田正三 六一一	チベット探検の先駆者 求道の師「能海寛」	飯田 進 六一一	佐伯邦夫の山とスキー大全(佐伯邦夫著)	中村純二 六一一	自然のフォーカス・山楽百花(小荒井実著)	山 ひと スキー(木下是雄著) 古市 進 六一一	江戸百名山図譜(住谷雄幸著) 林 栄二 六一〇	渡邉玉枝 六一〇	ネパールヒマラヤの山旅(大関保著)	野有五編) 茂見猛 六一〇	世界の山やま―二分冊(岩田修二・小疇尚・小	三好まき子 六一〇	立山遊記・立嶽登臨圖記(正橋剛二解読校注)	川禎治著) 飯田 進 六一〇	知床記―自然との出会いについて考える(早	佐藤知恵子 六〇九	グリーンランドは旅人を離さない(熊谷榧著)	茂見 猛 六〇九

(小野有五著)

三沢一三

六三三

高

(藤田弘基著

六三四

三沢二三

六三三

伊藤

六三四 六三四

小倉

厚

Spiti: Adventures in the Trans-Himalaya ウエストンの森 上高地・島々谷の朝と夜(高 カラコルムにおけるイタリア・アルピニズム (イ 本のある山旅(大森久雄著) 午後三時の山(柏瀬祐之著) 山の本屋の手帳(小林静生著 山の常識・非常識(森田秀巳・松倉一夫著) ヒマラヤの東(中村保著) (Harish Kapadia著) 山と空と放射線(野口邦和著 峰登頂 (石川富康著) 五十歳からのヒマラヤ 山への想い(上野巌著) 朝日連峰の四季(佐竹伸一著) 大橋 晋 焼石連峰の四季(高橋亭夫著) 大橋 晋 モンゴルの交流史(岡崎秀紀編著) サイハン モンゴル 魅せられてネパール 還暦のエベレスト (宮原魏著) 田宏=文・細川剛=写真) タリア山岳会トリノ支部編) 空から見た信州の道(信濃毎日新聞社・企画 ふるさと富士百名山(川村匡由・秋本敬子著) 写真集 安曇野―アルプス山麓の四季(穂苅 崎中正著) 写真集・わが山路、 満ちてくる湖(細川呉港著) 上高地―神河内絵画き宿(上條武著) 紀行集・山おちこち(松 自然・人・生活―島根と 魅惑のヒマラヤ(辻斉 四つの八千メートル 川崎精雄 宮下啓三 六一九 平井吉夫 細井澄子 岩瀬晧祐 三沢一三 六一六 林栄二 中村純二 六一五 茂見 三沢一三 六二 岩瀬皓祐 三沢一三 六一八 宮下啓三 六一七 古市 南井英弘 猛 進 進 敞 六一六 六一七 六一六 六一六 六一五 六一三 六一八 六一六 六一五 六一三 六一九 六二八 六一七 六一七 六一三 Independent Travelers (Robert Strauss著) Kielkowski著 傷だらけの神々の山 Mongolia (N.Prejevalsky著/E.D.Morgan ひとりぼっちの叛乱―とうちゃん巻機山に生 南極点スキーマラソン 岡秀郎編著 フィールドガイド・阿寒国立公園を歩く(片 とやま山紀行 新狩野川紀行 藤田弘基写真 現代に活きる山の神伝承(佐藤芝明著) 信仰の山歩き41関東霊山紀行(浅野孝一著) 雲取山のてっぺんから スキーの原点を探る(長岡忠一著) 辺境の星(雁部貞夫著)伊佐九三四郎 Adventure Trekking— a Handbook for Cho Oyu Himal & Kyajo Ri Himal Younghusband, Young, Tilman 五人の探検家・登山家の伝記 Curzon, Stein 南アルプスの登山史(田畑真一著) 心に残る花の山旅(板倉登喜子著) 京都丹波の山 きろ―(豊田和弘著) ヒマラヤ名峰事典(薬師義美・雁部貞夫編/ (新井新太郎著) (橋本廣編) (児平隆一著) 上下巻 立山・白山の自然は今 (内田嘉弘著) 未知への旅(中村進 雲取山よもやま話 宮下啓三 安間 荘 南井英弘 六二五 岩瀬晧祐 飯田進 狩野芳郎 岡田茂久 小野有五 六二三 松田雄一 三沢一三 三沢一三 大橋 晋 大橋 晋 栄二 六三五 進 敞 六三 六二 l (Jan 六二 六二五 六三 六三二 六二 六一九 六二六 六三 六三 六三二 六三 六二六 六二六 ピッケルと口紅―女たちの地球山旅(北村節 彼ら〝挑戦者〟新進クライマー列伝 山を楽しむ地図読本(石井光造著) たかが山登り 日本アルプス(宮下啓三著) 写真集 雲南・カイラス…四〇〇〇キロ(鎌澤久也著) 花の山旅・みちのくの山(一戸義孝著) 九重山博物誌 自然環境とのつきあい方・1 江上波夫の蒙古高原横断記 山書の森へ(横山厚夫著) 木の聲(稲本正著) ネパール語辞典(三枝礼子編著) ひざの痛みを治す(大森薫雄著) 富岳への路(林田正幹遺稿・追悼集) 播隆 北陸の湖沼 インドネシアの山登り(若松林治著) The High Andes (John Biggar著) (岩田修二著) (増訂版) 00年 京・北山四季讃歌 (北陸電力地域総合研究所企画) 登山と自然保護(宮澤邦一郎 (穂苅三寿雄・穂苅貞雄共著) (梅木秀徳著) 松田雄一 されど山登り(湯浅道男著) 三好まき子 三好まき子 六三 石坂昭二郎 (桂俊夫著) 平井吉夫 六二八 (池内紀編・解説) 児玉 茂 三沢一三 三栖寿生 六二九 林栄二 三沢一三 林 栄二 六二七 渡邉玉枝 三沢一三 茂見 猛 六二八 岩瀬晧祐 渡邉玉枝 横山厚夫 祝迫重明 久我良房 山とつきあう 栄二 (大蔵喜 六八 六三〇 六二八 六二七 六二八 六三 六二九 六三 六三 六三 六三 六三 六三〇 六三〇 六三〇 柳生雄、川越はじめ、岡村美邦共著) 南極のスコット(中田修著) High Himalaya Unknown Valleys (Harish Exploring the Hidden Himalaya (Solime-パソコンで楽しむ山と地図(山と地図のフォ 岳部 未踏峰コングールIV峰への挑戦(高橋 氷層の山 雪の屋根 リーダーは何をしていたか(本多勝一著) 鳥海山(斎藤重一著) 多雨林と火山 孤高の先蹤者八十歳現役で死す(石間信夫著) エベレスト花街道を行く 北海道森と川からの伝言 ①五五歳のときに登った山山 落日の山(荒賀憲雄著) Kapadia著 hta & Harish Kapadia著)南井英弘 六三六 ーラム編著 女子高生・汗と涙の初登頂―立川女子高校山 アルプス・花と氷河の散歩道(小野有五著) 越中の文学と風土(廣瀬誠著) 正橋剛二 日本のクラシックルート 「ネパール」アジア読本(石川溥著) (児玉茂著) 林野庁解体論(岡島成行著) 上高地の谷から(百武充著) 三好まき子 等三角点の山々(山口ゆき子、横山隆、 (森下博三著) 読書の山 (川見博美著) インドネシアの自然と人々

熊崎和宏

六三五

六三五

三沢一三 六三五

栄二 六三六

茂見 猛 六三六

狩野芳郎 六三六

松田謙介

六三五

横山厚夫

六三六 六三六

南井英弘

(山と溪谷社編)

平井吉夫 六三五

山本健一郎

六三五

松沢節夫

六三四 六三四

小泉武栄

◆海外雑誌・山岳団体会報等紹介

/鈴木主税訳)

栄二 六四七

タン峰(明治大学山岳部インドヒマラヤ登山

A LINE 地平線の旅人(江本嘉伸、遠藤正雄) 川喜田二郎著作集別巻―私の人生論・年譜・著 シェルパ―ヒマラヤの栄光と死 (根深誠著) の最高峰初登頂 (尾崎隆著) 三沢一三 六四六 幻の山・カカボラジ―冒険家族・ミャンマー 九重の自然と歴史(松本徰夫、武石千雄、 山野井泰史 (丸山直樹著) 中村純二 六五〇 湯浅道男 六四六 絹川祥夫 六四三 松田雄一 六五〇 加藤英彦 六四二 雄、佐四 六四七 六四七 六四九 ビヨンド・リスク(ニコラス・オコネル著/ 遭難の真実(ブクレーエフ&デウォルト共著 デス・ゾーン八八四八M—エヴェレスト大量 モ・チェセン著/近藤等訳)渡邉玉枝 孤独の山―ローツェ南壁単独登攀への軌跡(ト 中国歴代 西域紀行選 (渡辺義一郎編訳) ヒマラヤのスパイ(シドニー・ウィグノール著 美・吉永定雄訳 68M(ニコラス・B・クリンチ著/薬師義 ヒドンピーク初登頂 海津正彦訳) へ(ティム・マッカートニー・スネイブ著/ エヴェレストへの長い道―海抜ゼロから頂上 アイス・ワールド (ジェフ・ロウ著 手塚勲 チョフ・ナンセン著/太田昌秀訳) フラム号 北極海横断記―北の果て(フリッ (J・クラカワー著/海津正彦訳) 空へ―エヴェレストの悲劇はなぜ起きたか ト・ゲーデケ著/島田荘平・島田洋子共訳) アルプス4000M峰登山ガイド(リヒャル (ピット・シューベルト著/黒沢孝夫訳) 生と死の分岐点 山の遭難に学ぶ安全と危険 雲水伴侶 (石田兵一著) 冬のデナリ(西前四郎著) キャラバン東ネパールを行く (川村明夫著) / 三浦彊子訳) カラコルムの秘峰80 三沢一三 大四〇 奥野幸道 田村俊介 児玉 茂 六四 三沢一三 六四 稲田定重 六四 横山厚夫 六三五 松原尚之 六三九 宮下啓三 六二八 三沢一三 六三五 南井英弘 栄二 六三 栄二 六三 六四六 六二四 六二四 六二四 山と人八十年 未知の世界を求めて―一九九五 関大山岳部の七十年―創部七十周年記念誌 九一~九二/一九九三~九四(群馬県山岳連 母なる大空 冬期サガルマータ南西壁 一九 Berg '95 Alpenvereinjahrbuch (R.W.Sandoford, Geoff Powter編) Canadian Alpine Journal 1907 – 1994 Canadian Summits—Selections from the (財日本自然保護協会編) (宇都木慎一編 (神戸大学山岳会・山岳部編) 越田和男 六一一 大台北地区近郊登山手冊 (国民旅遊叢書)

Eiger Die Vertikale Arena (Daniel Anker 作集(原田真知子編) 山のスケッチブック "仲間達へ" 原田達也遺 富士に魅せられた七十年 エヴェレストの女たち(田部井淳子編 熱き心 登山と企業から学んだ私の人生哲学 画集 旅の回顧 (黒石恒著) 樹林の山旅 関東・甲信・南会津の山歩き 死者は還らず(丸山直樹著)藤井昭孝 (渡辺正臣著 深川安明 松丸秀夫 六四 中村太郎 宮下啓三 六四 山田哲郎 渡邉玉枝 南井英弘 六四 六四 六四 六四 六四〇

▼海外訳本

エベレスト遥かなり(平山善吉著) 松家 晋 六四C 北の山里に生きる―みちのくの自然と人生

ある日の山

ある日の峠

(横山厚夫著)

藤井昭孝

六四〇

作目録・総索引(川喜田二郎著)

年北海道(中浦皓至著) 日本スキー・もうひとつの源流―明治四十五 「湿原の花と山」 改訂新版(小荒井実著

高澤光雄 六四九 松田雄一 六四九

(バーナード・ストーンハウス著/神沼克伊

山歩き五十年 (傘木徳十著) 妻と二人の山歩き [心得篇] (小浜浩三著) 上北和夫 六五〇

ファンショウ、スティーヴン・ヴェナブルズ ヒマラヤ・アルパイン・スタイル(アンディ・ 山こそ我が世界(ガストン・レビュファ著/ 近藤等訳) 三沢一三 六〇六 進 六一五

北極・南極(極地の自然環境と人間の営み)

妻と二人の山歩き―五十歳からの初めての山 念に登った山山(本多勝一著) 三栖寿生 Rocky Mountains (白籏史郎著) 日本の名山 (小浜浩三著) シリーズ全二十巻 別巻四巻(既 三沢一三 六三七 松田雄一 六三七 六三七

藤眞一、佐藤三千代、甲斐素純共著)

机上登山

(西丸震哉著)

藤井昭孝

三方洋子共訳

狩野芳郎

六一七

秋田県田沢湖町駒ケ岳山麓イヌワシ調査報告

松沢節夫 六〇一

南井英弘 六〇三

飯豊道 (五十嵐篤雄著) 能海寬遺稿(能海寬著) 岩瀬晧祐 小倉 厚 栄二 六三九 六三八 六三八

戸高雅史共著)

東京付近のんびりゆったり山歩記(新妻喜永 鳥海山(土岐正勝、岸昌一、神田より子、斉 三沢一三 六三九

単独登攀者

三沢一三

横山厚夫 六三九 ソロ

和仏山岳用語研究(村西博次編著) 大森久雄 六四〇

and Nina Shoumatoff編 Around the Roof of the World (Nicholas

宮下啓三 六四〇

山とスキー大全(佐伯邦夫著)村井葵 空飛ぶ山岳救助隊(羽根田治著) 三好まき子 六四八

沼田眞・自然との歩み―年譜・著作総目録 (堀込静香編 松田雄一

ヒマラヤで考えたこと(小野有五著) 六四八

渡邉玉枝

ザイル 明治学院大学山岳部五十周年記念号 (小堀一政編)

(5)

松沢節夫 六〇九

渡邉玉枝 六〇九

六〇五

越中安政大地震見聞録(富山県郷土史会校注 三好まき子 六二 大橋 晋 六二

Everest from South-Pillar (愛知学院大学 山岳会・湯浅道男編) 泉 久恵 六一

「丹水二号」十五周年記念誌(日本山岳会丹水

群バリラガチン峰は微笑む(一九九二)、草洋 モンゴル・アルタイ山脈ムンフハイルハン山 員隊·島根県山岳連盟隊事務局) に浮かぶ白い女神(一九九三)(島根県高校教

最新雪崩学入門―雪山最大の危険から身を守

海外合宿報告書 インドヒマラヤ・ガングス るために(北海道雪崩事故防止研究会編) 山岳警備隊出動せよ! (富山県警察山岳警備 林 栄二 六一五

団体研究会・松本支部編) 登山隊一九九五実行委員会編) 記録(栃木県高体連登山部中国チベット学術 輝ける白き峰 ニンチンカンサ西稜初登頂の 自然史ハイキング 信州の地質めぐり 茂見 三栖寿生 六一八 猛 六一七 (地学

パトニーヴェイルからの風―山脈に語る(日 東海山岳 第七号 (安藤忠夫編) 登山隊報告書 シシャパンマ(一九九五年秋シシャパンマ峰 本山岳会信濃支部編) 岩瀬晧祐 六二一 渡邉玉枝 六一八 柏木宏信 六一九

関西の秘境芦生の森から(芦生の自然を守り The Himalayan Journal 52, 1996 宮下啓三 六二

炉辺 第九号(明治大学山岳部炉辺会編)

松田雄一

六二

生かす会編

泉 久恵 六二二

る編

丹沢

(東北大学シッキムヒマラヤ学術登山実行委員 東北大学シッキムヒマラヤ学術登山報告書 渡邉玉枝 六二四

ザイルを結ぶ男たち(山学同志会編)

岩燕 一九八六~一九九五 (麻布学園山岳部・ 神戸一中遠足部・神戸高校山岳部史(目賀田 ベルク (BERG) '97 平井吉夫 六二六 三沢一三 六二四 羽田栄治 六二七

South Africa-1995 (南アフリカ山岳会刊) The Journal of the Mountain Club of 岩瀬晧祐 六二九

四つのアルパイン・ジャーナル 南井英弘 六三〇

宮下啓三 六三

マカルー東稜 報告書 奥多摩の尾根と沢(奥多摩山岳会編 (日本山岳会 マカル 横山厚夫 六三三

**貢嘎山(札幌山岳会編** 

**ー登山隊一九九五編**]

猛

六三四

保

六三四

会長就任にあたって

村木潤次郎

六〇二

収支計算書

社日本山岳会平成九年度事業報告

六三六 六三八 平成十年度通常総会「秩父宮記念山岳賞」を

収支予算書案

六二六 六二六 六二六 六三天 六二天

**社日本山岳会平成九年度事業計画**案

財産目録 貸借対照表 正味財産増減計算書

「峰」創立五十周年記念号(日本山岳会石川支 津田文夫 六三四

> 貸借対照表 正味財産増減計算書

六三八

六三八 六三八 六三八

六三八

岡田紅陽・田淵行男の世界 (田淵行男記念館 蜂谷 緑 六三四

【山岳】—創立50周年記念誌(日本山岳会富山 越田和男 六四〇

の記録(日本山岳会東海支部編) 山は知っている―環太平洋一周環境調査登山

より高くを求めて(昭和山岳会編) 山岳連盟編 太刀の嶺高く―創立五十周年記念誌(富山県 高柳清美 六四三 博六四

大蔵喜福 六四六

美濃の山 一~三巻(大垣山岳協会編 「山想」第九号(法政大学体育会山岳部 山のものがたり 秦野市発行 (山崎祐子・野村みつ 松家 晋 **久**恵 六四六 六四六

Indian Mountaineering Foundation骠) インドヒマラヤの登山情報について(The 西尾寿一 六四七

かなり 曲阿加吉瑪』(松坂良一編) 九九七年チァジャジマ峰登山 報告書『遥 南井英弘 六四八

コーボルト―七十年(コーボルト会編) 松家 晋 六五〇 三沢一三 六四九

会議・委員会

₹会員総会

副会長 平成七年度通常総会 新会長に村木潤次郎元 高田眞哉 六〇二

> 収支予算書家 収支計算書 <del>他日本山岳会平成七年度事業報告</del> 平成八年度通常総会開催 社日本山岳会組織の見直しについて家 社団法人日本山岳会細則・細則改定案 定款の新旧対照表 日本山岳会平成七年度事業計画案 財産日録 貸借対照表 正味財産増減計算書 ハルマ氏新名誉会員に クリシュナ・B・ 高田眞哉 六一四 六〇二 六〇二 六一四

社団法人日本山岳会細則 定款について 収支予算書家 社日本山岳会平成八年度事業計画案 財産目録 貸借対照表 正味財産増減計算書 六二四 六四四 六一四 六二四 六二四 六四四 六一四 六一四 六一四

社日本山岳会平成八年度事業報告書 イオニアワーク実践を 会長就任にあたって 総会・付記(質疑応答 長を選出 平成九年度通常総会 新会長に斉藤惇生副会 細則改定案 収支計算書 山登りはそれぞれのパ 斎藤惇生 六二六 六二六 六二六 六二六 六六

収支計算書 紀日本山岳会平成六年度事業報告 六〇二 六〇] 六0二 六01 六〇] 六01 六〇 六0. 収支予算書家 社日本山岳会平成十年度事業計画家 財産日録

平成11年度通常総会 新会長に大塚博美氏を 収支予算書家 社日本山岳会平成十一年度事業計画家 財産目録記載外のその他の物品リスト 財産日録 貸借対照表 正味財産増減計算書 収支計算書 社日本山岳会平成十年度事業報告書 会長就任に際して 古きのれんに活力を 監事監査報告 高橋重之 六五〇 入塚博美 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇

▼年次晩餐会

健一、青木昇、木下是雄、松丸秀夫、川喜田 新名誉会員をご紹介します 笠原藤七、富田 マナスル初登頂四十周年記念行事 平成八年度年次晩餐会 橋本総理、新入会の マナスル登頂四十周年記念展覧会について 夫人とともに 今年の年次晩餐会のお知らせ 一郎、黒田初子、永年会員は十名 高田真哉 六二〇 映画と講 六二〇 六二〇 六〇

平成十年度年次晚餐会 皇太子殿下、妃殿下 平成九年度年次晩餐会 皇太子殿下、カナダ 平成九年度年次晩餐会ご案内 と共にご出席 お知らせ 平成十年度年次晩餐会 新名誉会員をご紹介します・一九九七年度の 水年会員 AC首脳とご歓談 高田真哉 六三 松田雄一 六二二 **高橋重之** 六四四 六二九 六四 六三二

顧と展望

図書委員・大森

六一六

岩瀬晧祐

六一六

渡邉玉枝

六二五

六二三

六一二 六二二

六五五

二八、六三〇~六四〇、六四二~六五〇 記念フォーラム・Ⅱ 記念フォーラム・I ヨセミテからのメッセ 記念フォーラムについて 大森弘一郎 日本山岳会創立九十周年 理事会・評議員会六〇一~六〇四、六〇六 ージ 山の自然保護のために 記念式典・晩餐会 皇太子殿下もご出席 会員名簿発行のお知らせ 日本山岳会九十周年記念フォーラム 九十周年記念フォーラムの計画 日本山岳会本部九十周年記念式典のお知らせ 第一回秩父宮記念山岳賞決まる 新名誉会員をご紹介します 遭難捜索費用担保付普通障害保険の団体導入 丹沢・三ノ塔の記念山行に参加して 記念フォーラム・Ⅲ フォーラム華々しく開催 ◆総務・資料委員会 審査の経緯について 九九五年度日本山岳会新入会員の集い マナスル初登頂からマカルー東稜 審査委員長・小田 運営委員長・竹内哲夫 三枝礼子・薬師義美 ヒマラヤ登山・その回 私の山行・中高年登山 - 六一六、六一八~六 記念式典・晩餐会・ 小川九三雄 六〇七 大森弘一郎 小倉 厚 高田真哉 小倉董子 六〇七 小野有五 六〇七 稔 六〇七 六〇七 六〇七 六〇七 六〇五 六〇四 六〇三 六〇二 六四四 六四四 六四四 六〇二 六四四 六四四 年次晩餐会特別企画展「わが支部とっておき 第一回全国山岳博物館等連絡会議・開催され 講演会・明治時代の測量技師たちの活躍 幻のピッケル 平成十年度団体傷害保険募集 ムページ データバンク研究会 インターネット・ホー 日本山岳会団体傷害保険のご案内 インターネット・ホームページを開設 九七年度新入会員オリエンテーションを開催 「インターネット」ホームページ試行版誕生! 年次晩餐会のパネル展示原稿募集 第33回観光週間 データベース研究会の活動を報告します 八年度後期新入会員オリエンテーション 平成八年度上期新入会員オリエンテーション パソコン通信・講演会のお知らせ 講演会のお知らせ 第32回観光週間 新入会員オリエンテーション 四十五名が一 きについて 「日本山岳会団体傷害保険」の中途加入手続 C百周年の夢を語る」 支部事務局担当者会議 について マナスル登頂四十周年 木本慶太郎・利部輝雄・熊谷友昭 データバンク研究会・山口俊輔 百年史委員会・中島 寛 六二〇 シンポジウム「JA ネパール行事報告 百年史委員会 鰺坂青青 中村昭 山口俊輔 松尾良久 六二四 熊谷友昭 六二四 松田雄一 六一九 伊藤 敞 六一一 高原三平 松尾良久 六二九 高原三平 六三 六二五 六一二 六三五 六三 六三二 六三二 六七七 六二九 六二六 六一四 六三三 六三二 六〇九 ネパール観光年記念「JACネパール・トレッ ネパール観光年記念「JACネパール・トレッ キング」の案内 PC導入検討委員会 俗字などについて 会員名簿の改定についてのお願い 資料委員会に新風を データバンク研究会 山岳保険募集中 百年史委員会 会員名簿探しについて 会員名簿探しの協力お礼とお願い 閉めます 去の遠征記録も データバンク研究会 ルームのパソコンで過 百年史委員会 初期の会員名簿をさがしてい 事務局の土曜休日について 秩父宮記念山岳賞について キング」の案内 データバンク研究会 「秩父宮記念山岳賞」の創設について 六三六 九七年度(第二十六回) インターネット・ホームページへの接続方法 十月より(試行)第2、第4土曜日ルームを ◆図書・フィルム委員会 全国山岳博物館等連絡会議開催 九九八年度下期新入会員の集い 九九八年度上期第二十七回新入会員の集い 百年史委員会・松田雄一 山の本探しもホームペ 山に関するホームペー 新入会員オリエンテ 水田弘太郎 三上博民 六四〇 狩野芳郎 高原三平 松田雄一 松田雄一 松田雄一 六四〇 遠山元信 六三七 鰺坂青青 六四八 六四六 六四五 六四三 六四三 六四 六三七 六三六 六五〇 六五〇 六三九 六三八 六三八 六四六 六四〇 六四五 第二十七回山岳図書を語る夕べ スイス山案 氏に聞く 第四回重複本の会員頒布(頒布図書リスト) お知らせ 山岳図書を語る夕べ お知らせ 古き道を尋ねて 秩父・妻坂峠越え お知らせ 第二十四回山岳史懇談会 日大「桜門の山を 「山岳」バックナンバー特別割引頒布 お知らせ 夏の写真撮影会 お知らせ 古道を尋ねて 妻坂峠を越えて 内人の手帳より 図書紹介欄の原稿について 細井澄子 六〇九 お知らせ お知らせ お知らせ 第三回山を語る 頒布図書リスト 図書管理委員会 第六回写真撮影会 高尾山での撮影・ハイキ お知らせ 古き道を尋ねて 笹子峠越え・五月二十七日 お知らせ お知らせ 山岳名著」 お知らせ 真夏の撮影会 浅間山行 「覆刻日本の山岳名著」・「新選・覆刻日本の イタリア国立山岳博物館館長との 第四回「山を語る」講演会 第二十七回山岳図書を語る夕べ 第三回「山を語る」講演会 第二十四回山岳史懇談会 初夏の高尾山を写そう 山梨県立文学館の特別展 山の映画(ビデオ)とお話の夕べ 紅葉の立山・黒部撮影会 会員特別頒布に寄せて

第31回観光週間

表彰に当たって

六〇八

六〇八

南井英弘 六一二

広河原山荘と私―塩沢久仙

三沢一三 六〇八

六〇八

重複本の会員頒布(第三回)

六〇五

北村義男 六〇四

六〇四

六〇三

富山支

六0.

六〇

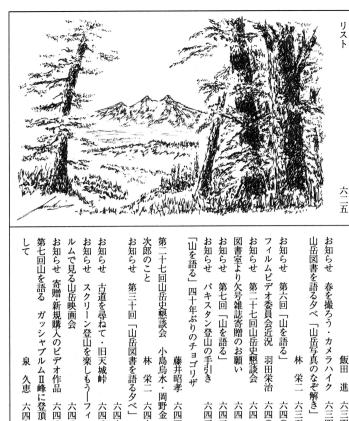
六〇

山岳映画ライブトーク 第二十五回山岳史懇談会

ノ山岳博物館館長と

第四回「山を語る」

お知らせ 第二十五回山岳史懇談会



フィルムビデオ委員会(ビデオテープ)保管 山岳図書を語る夕べ「アルプ」三〇〇号の軌 懇談会 ウエストン写真展をめぐって―トリ フィルムビデオ委員会 ビデオ作品を貸し出 初心者のための山岳写真講座 雲の上の診療所 岩瀬 時祐 六二二 大森久雄 六二二 山口俊輔 六二五 六三 六二〇 六一〇 六二〇 六 九 九 の夕べ お知らせ ネパールの新五万分の一地図を入手 お知らせ お知らせ お知らせ 記念の年 お知らせ お知らせ 「山を語る」第五回は「ヒマラヤの東」 山岳史懇談会 初登頂/ヒラリー卿は語る 一万五千分一地形図全国収集整理が完了 山とスキーの映画の夕べ 第五回「山を語る」 第二十九回山岳図書を語る夕べ 山とスキーの映画の夕べ 第二十六回山岳史懇談会 平井吉夫 大森久雄 南井英弘 六三二

▼集会・青年部関係

第三十回「山岳図書を語る夕べ」山岳写真撮

六天 影の面白さ

六二九 六八 六八 ビールパーティーのお誘い 「きのこ山行」のご案内①

六二九

六三二

麓の沼尻温泉で…

六〇三

若葉会山行・虎毛山

長嶋正浩

六三九

六三六

第十九回若葉会山行(粟ヶ岳・守門岳登山

「きのこ山行」ご案内②

お知らせ 九十周年記念親睦山行

六〇三

六〇二

お知らせ

「夏山を満喫するために」第一回

六三六

六三六

六三四

六三〇

六0

中高年会員の増加とその対策

六〇三

お知らせ 「夏山を満喫するために」第二回

お知らせ 集会スキー懇親会は安達太良山西

お知らせ お知らせ

古道を尋ねて・筑波山

ビデオで楽しむスイス・アルプス 六三三 六三二 六三三

沼尻・懇親スキー山行 西吾妻山から滑降…

お知らせ 沼尻集会スキー懇親会の詳細六〇五

石橋正美 六〇四

お知らせ

第二十回記念若葉会山行

六一〇

焼岳登山とウエストン祭

黒木史子

六四一

六四〇

六三九

六四二

六四六

中高年登山

お知らせ シンポジウム「科学的にとらえた

お知らせ きのこ山行「三岐山と小白森山」

春を撮ろう・カメラハイク 飯田進 六三四 六三四

お知らせ
カジタのアイゼン・ピッケル講演

お知らせ 第六回「山を語る」 山岳図書を語る夕べ「山岳写真のなぞ解き」 お知らせ 六三五 六四〇

六四〇 六四一 六四一 六四二 お知らせ きのこ山行 ビールパーティーへのお誘い 第二十回若葉会山行 お知らせ 講演会 カジタのアイゼンとピッケル 八方尾根懇親スキー山行 金城山・浅草岳 三沢三

第二十七回山岳史懇談会

第七回「山を語る」

パキスタン登山の手引き

六四三

お知らせ 八ヶ岳アイスクライミング研修会 六一八 六一六 六二九

> 岩登り研修会開催のお知らせ 芽吹きと新緑の八甲田山を滑ろう 登山技術研修会のご案内

お知らせ

お知らせ 若葉会山行(和賀岳・薬師岳) きのこ山行 山形県・摩耶山 石光久仁子 六二〇

小島烏水·岡野金

藤井昭孝

六四四

林 栄二 六四六

初めて参加した八方尾根スキー懇親会 六三二

お知らせ 冬山登山研修会

冬山の本格的技術を学ぶアイスクライミング

熊崎和宏 六二三

部・指導委員会共催

一日間みっちり訓練

岩登り技術研修会

熊崎和宏 六一九

全国大学山岳部監督会議開催 青年部・学生

第三十三回マラソン大会

六一七

六五五

六一〇

六〇八 六〇七

全国大学山岳部監督会議開催される 藤枝和夫 六三

スクリーン登山を楽しもう―フィ

古道を尋ねて・旧天城峠

六四八

六四六

雨にたたられ山行中 宇田川芳伸 北野忠彦 六二六 六二四

中上級者対象山岳スキー研修会を開催

岩登り技術研修会開催のお知らせ(指導・遭

熊崎和宏 六二五

初中級者対象山岳スキー研修会・志賀高原で

熊崎和宏

六四八

六四八

六四九

お知らせ 第二十一回若葉会山行 秋のきのこ山行 六二七

三沢一三 六四九

お知らせ 沼尻スキー懇親会

七ツ岳、三岩岳・きのこ山行 中西豊和 六三二

(8)

六二五

八甲田山・スキー講習会

小田

六〇

▼指導・学生部関係

お知らせ アイスクライミング研修会

(指導

六二二

お知らせ お知らせ

若葉会山行 スキー懇親山行

六二五 六五五

字生青年部共催)

歯をくいしばって頑張る 滝 紘之杖をついて歩こう 大森薫雄	平成七年度海外登山基金委員会 六一〇平成七年度海外登山基金について	置 森 武昭 六三四 森 武昭 六三四	探索山行 奥美濃大日ヶ岳 (岐阜支部共催)
山での頭痛は頭痛のタネ	講演会のお知らせ、六〇九	山の地形を探る」	
登山における呼吸法	集 海外登山基金委員会 六〇五	お知らせ 探索山行「フォッサマグナ西縁の	シンポジウム「最近の山岳通信の進歩」開催
1	平成七年度「海外登山基金」助成登山計画募	ェクトリーダー 登山隊長・大蔵喜福 六三一	るシミュレーション 松丸秀夫 六〇四
◆山と医療	題と活発な討論 医療委員会・堀井昌子 六〇三	連続センサーが無事プロジ	スキー力学講演会 スキーロボット実演によ
集海外登山基金委員会	第十五回登山医学シンポジウム 多角的な演	八年目を迎えたマッキンリー観測登山 三年	部共催 六〇二
平成十年度「海外登山基金」助成登山計画募		お知らせ 談話会「日本の分水嶺」 六三一	お知らせ「探索山行「奥美濃の植物」岐阜支
	●・高川登山・医療を含め	涼しい夏 日本気象協会・清水輝和子 六二九	◆ 末台 不 なっきょりょう
「登山医学知識の最前線」	お知らせ 気象講座「高層気象入門」 六四八	連続講座「夏山気象入門」第四回 暑い夏・	→ 斗 学 开 宏 を 引 会 は
£.	に学ぶ」 六四七	見方」	六三六
「登山医学知識の最前線」を読んで	お知らせ 探索山行「火山ガスの危険を現地	お知らせ シンポジウム「山で役立つ天気の	お知らせ 特別講座「もう一つの世紀末」
「登山医学」知識の最前線	「数値地図」講演会 近藤善則 六四七	観天望気 日本気象協会・城戸邦夫 六二八	キング」 総務・集会共催 六三六
市で開催	員会 科学委員会担当理事・森 武昭 六四七	連続講座「夏山気象入門」第三回 天気図と	ネパール観光年記念「JACネパール・トレッ
登山と高所環境に関する国際医学会議	画」について ミニ水力発電計画実行委	二七	六二三
際医学会議松本市で開催	上高地山岳研究所における「ミニ水力発電計	シンポジウム「山で役立つ天気の見方」予告	お知らせ「中華民国山岳協会登山隊」来日
お知らせ 第三回登山と高所環境に関する国	福山美知子 六四五	梅野淑子 六二七	◆シバスクハスをボラフューリップ
	シンポジウム・科学的にとらえた中高年登山	科学委員会 火山探索 猫魔ヶ岳・磐梯山	▶毎外車各委員会
第三回登山と高所環境に関する国際医学会議	お知らせ「数値地図について」講演会 六四四	日本気象協会・奥山 巌 六二七	雪崩ビーコン講習会を開催 鳥居和雄 六四七
	シンポジウム開催 森 武昭 六四二	と天気図の見方	中世古隆司 六四五
国際登山医学総会に参加して	火山ガスの危険性を訴える―本会も後援して	連続講座「夏山気象入門」第二回(山の気象)	平成十年度大学山岳部監督会議
集 海外登山基金委員会	大蔵喜福 六四一	安全対策 北野忠彦 六二六	青年・学生・遭難対策共催     六四四
平成九年度「海外登山基金」助成登山計画募	マッキンリー気象観測・後編 デナリの頂上	連続講座「夏山気象入門」第一回(雷放電と)	お知らせ アイスクライミング研修会 指導
ご案内	自然エネルギー展延長 森 武昭 六四一	渡辺兵力 六二四	帰国 宮崎紘一 六四三
「第十七回日本登山医学シンポジウム」	けるために」 集会委員会協賛 六四一	秩父宮記念学術賞の記念懇談会	皇居一周マラソン大会、ブータン遠征隊無事
	中高年登山―中高年者がこれからも登山を続	お知らせ 連続講座「夏山気象入門」 六二二	お知らせ 岩登り技術研修会開催 六四〇
関する国際医学会議」について	お知らせ シンポジウム「科学的にとらえた	お知らせ 探索山行 六二二	六三四
日本で開催される「第三回登山と高所環境に	気象講座 夏山気象入門 平野 彰 六四〇	探索山行(予告)	お知らせ(中・上級者対象山岳スキー研修会)
海外登山基金委員会	ーナー、嵐の咆哮 大蔵喜福 六四〇	講演会のお知らせ 六二一	六三三
平成八年度海外登山基金について	マッキンリー気象観測・前編 ウィンデーコ	講演会 環境と森林 北野忠彦 六一八	お知らせ 初級者対象山岳スキー研修会
	防止シンポジウム」 六三九	環境と森林 岩坪五郎 六一八	学山岳部 村井 葵 六三三
お知らせ 医療講演会「凍傷治療のあれこれ」	お知らせ 科学技術庁主催の「火山ガス災害	講演会のお知らせ 六一五	第三回全国大学山岳部監督会議 頑張れ!大
集 海外登山基金委員会	お知らせ 気象講座「夏山気象入門」 六三七	石田要久 六一五	第三十四回マラソン大会開催 学生部 六三二
平成八年度「海外登山基金」助成登山計画募	探る 丸山修一 六三七	探索山行(ツキヌキソウと四阿山)	平野直子 六三一
	探索山行(フォッサマグナ西縁の山の地形を	講演会のお知らせ 科学研究委員会 六一二	岩登り研修会 確保技術と遭難救助研修
登山を中心に―運動と活性酸素について	談話会 日本の分水嶺 福山美知子 六三六	お知らせ 探索山行「古代陸封植物」 六一一	難対策・青年部・学生部共催) 六三一
ム開催	近藤善則 六三五	芳野赳夫 六〇九	お知らせ アイスクライミング研修会 (遭
お知らせ 第十六回日本登山医学シンポジウ	シンポジウム 山で役立つ天気の見方	シンポジウム 最近の山岳通信の進歩	難対策共催) 六二八

会員異動 六〇一~六〇三、六〇五~六〇九、 ルーム日誌、六〇一~六五〇 中高年の高度順化 時差・日程への順応も必要 滝 和美 役に立つ医療器具 山の外傷と破傷風 登山(一九九五) 佐藤典子・中島道郎 海外登山と肝炎 山でタバコを吸うと… 登山の前に痛みのチェックを 滝和美 寒さと身体のしくみ 成人病と登山 UIAA医療委員会公認基準(その6)子供の チ刺傷ショック 塩田純一 堀井昌子 黒石 恒 住吉仙也 滝 和美 堀井昌子 河村栄二 河村栄二 六一 関口令安 六一六 六一三 六二六 六二四 六三 六一九 六〇九 六〇七 六〇六 六三五

## ◆その他事務局関係

扱いに関して

六四四

ポカラ国際山岳博物館建設募金免税措置取り

六三五、六三七~六四七

ネパール国際山岳博物館募金応募状況 ネパール国際山岳博物館募金のお願い

九十周年記念ビデオ実費頒布のお知らせ 九五年度名簿作成についてのお願い 会報「山」合本・製本のお知らせ 六〇六 六〇五 六0七

東京都山岳連盟事務所移転 JAC ORIGINAL GOODS Shopping Guide ルームの夏休み JACグッズを頒布 六七 六三四 六三二 六一四

六一一~六三一、六三三~六四O:

総務委員会からお知らせ・事務局が変わりま 父宮記念山岳賞募集 した・土曜日の休室と開室時間について・秩 六四七

## 自然保護

故片山全平氏の蔵書四五〇冊寄贈される

行地図を寄贈

松田雄一 六三八

H J編集長カパディア氏よりインド 測量部発

ブックシリーズ

三沢一三 六三〇

「山と溪谷社」「日地出版」寄贈の新版ガイド

図書受入報告 六四二~六五〇

六〇一、六〇三~六二五 六二七~六五〇

鳥海山南麓に幻とされたイヌワシを追って 開発問題 イヌワシ営巣地を発見 山形支部・佐藤淳志 六〇三 鳥海山南麓スキー場 澤井政信 六〇三

六四七

六四〇 六四〇

六四八

故堀内章雄氏蔵書を寄贈 故島田巽氏の蔵書を寄贈 中国雪峰地図の受入報告

住所変更(表)

六〇一~六〇三、六〇五 六〇八、六二一~六二五

ヨセミテ紀行96ご案内 ワシ調査報告を中心に 平成七年度自然保護全国集会 鳥海山のイヌ ゴラパニ石楠花調査へのお誘い 一九九五年八月・上高地インタープリター物 大森弘一郎 松本恒廣 六〇八 六〇六 六〇七 六〇八 六〇四

創立90周年記念事業募金応募状況

六〇一~六一一

白神山の入山規制について

石田稔郎

六四六、六四九~六五〇 六三二~六三五、 新入会員(表)

六三七~六四〇、六四二~

六〇一~六一一、六一三~ 六二、六二五~六二八、

お知らせ

一九九五年度自然保護全国集会

▼共同募金関係

自然観察会 東大秩父演習林で 川越尚子 六二二

創立90周年記念募金のお願い

90周年合同募

六三

六〇五

お知らせ 一九九六年自然保護全国集会 白神山地の入山規制について考える(白神山 地世界遺産メモ 中村純二 六一二

お知らせ 自然保護全国集会と雨飾山登山 会・山の自然学研究会 上高地自然観察会のお知らせ 自然保護委員 六一四 六一三

平成八年夏・上高地インタープリター 平成八年度自然保護全国集会―国営あづみの 尾瀬沼・魚の大量死 お知らせ 函南原生林で自然観察会 多様性の視点から 山から失われる生き物たちのにぎわい―生物 公園、県営緑地問題を中心に 篠崎仁 小荒井実 六一六 堂本暁子 六一七 六二五 六一六 六一四

お知らせ 第六十九回「山の自然学講座」 日本山岳会のNGO活動 シバプリの丘の植 大森弘一郎 大森弘一郎 六一九 六一九

再び白神山地について 早池峰の自然保護を考える 澤井政信 白神山地問題で意見書提出 お知らせ 第六十九回山の自然学講座 函南原生林の自然観察会 「白神山地問題」について石田稔郎氏に答える 人」に選ばれて | 環境に貢献した世界の女性リーダー二十五 篠崎仁 澤井政信 石田稔郎 澤井政信 堂本暁子 六二五 六二 六二〇 六二〇 六二〇 六三五 六二〇

お知らせ 一九九七年度自然保護全国集会 西口正司 六二六、六二七 六二五 白神山地についての石田氏への反論

白神山地問題と組織運営について反論

と自然保護を考える」 お知らせ シンポジウムとコンサート「登山 六二七 六二八

「山の自然学現地講座」ご案内

六四四

自のプロジェクトを展開 平成九年度自然保護全国集会 各支部とも独 地球環境に果たす役割―ラリグラス植林 伊藤 敞 六三一 敞 六三九

シンポジウム 登山と自然保護を考える 大森弘一郎 六三二 松本恒廣 六三二

上高地インタープリターの四年

「ヒマラヤに緑を取り戻そう」を合い言葉に お知らせ 一九九八年自然保護全国集会 六三四 大森弘一郎 六三四

関西からの発信 日本の国土をブナ林に 里山ブームは自然保護なのか 児玉茂 六三五 遠藤京子 六三五

**|里山ブームは自然保護なのか」に答える** ブナを植える会会長・桑田 結 六三六

早池峰の昔の高山植物の写真を探しています お知らせ 一九九八年自然保護全国集会 六四〇 お知らせ 自然観察山行 高山植物―保護と盗掘防止を考える」 お知らせ シンポジウム「絶滅から救おう! 高山植物盗掘のプロも登壇 市川義輝 環境月間・環境の日 自然学研究会 やま学研活動報告 伊藤 敞 六三六 六三九 六三九 六三九 六三七 六四〇

「日本百名山」による自然破壊

自然観察山行 木曾自然休養林

六四一

平成十年度自然保護全国集会「芦生の森から シンポジウム 高山植物の保護と盗掘防止を 伊藤 伊藤 敞 六四二 敞 六四三

学ぶ」 お知らせ 早春の忍野で富士山を語り、 大森弘一郎・大蔵喜福 六四四 山麓 六四四

絶滅寸前の希少種ザオウカラマツは生き残れ

小石川後楽園・涵徳

六二五

名水—黒部の流 94同期会 六一四

近藤 昭

六一三

高橋重之 六一三

ジャック93

六一三

和波久基

吉田雅子

エッセイ・自然保護 我々は鹿より賢いか 近ごろ思うこと マッキンリーのトイレ コロラドの山を訪ねて ザックの中身 さんけんだより 新米管理人奮闘記・1 さんけんだより 平成10年度の開所と利用予 山研の利用について 日本山岳会上高地山岳 会ほか共催 保全ということ 人心を映す鏡 お知らせ 一九九九年度自然保護全国集会 富士山憲章制定記念シンポジウム「富士山の 池峰インターハイ山岳競技問題」から 文化庁および環境庁への要望書について「早 さんけんだより 新管理人・木村夫妻をご紹 山研・ある日ある時 山研休館日のお知らせ 山研だより 上高地の自然をご案内します(自然保護委員 自然保護の考え方 山研利用料の改定 所管理規定 研究所利用規定 日本山岳会上高地山岳研究 お知らせ ▼上高地山岳研究所 ▼自然保護随想 山研管理人 木村太郎・弥生 山研で自然エネルギー展を開催 JACジュニア登山教室 科学・資料・山研共催 六三八 山研管理運営委員会 六一 身近な自然 白根まり子 大森弘一郎 蜂谷 溝口洋三 六〇九 柴田篤志 澤井政信 大蔵喜福 関塚貞亨 近藤 緑 六四八 大蔵喜福 六四八 雑木林の 敞 敞 六三二 六一〇 六〇一 六二九 六一三 六〇八 六〇五 六〇四 六0二 六三 六五〇 催し物 います 約について ジャック93会 第三十七回有志閑談会 小石川後楽園涵徳亭 写真展「岩橋崇至の世界―空の深淵」 藤江幾太郎・第四十回山の画展 早春の房州「高宕山」三水会・高橋重之 六〇 さんけんだより 来年までさようなら 木村太郎・弥生 六四三 山研の隣人たち さんけんだより 春の登山集会 倉岳山・高畑山(清掃登山) で三十五人が清談 松田敏男・山の端と山の版画展 お知らせ ジャック93会・第三回登山集会 ストン祭 お知らせ さんけんだより 上高地「山研」オープンと五月連休の利用予 山研のミニ水力発電計画実行委員会発足 さんけんだより さんけんだより 新米管理人奮闘記・6 さんけんだより さんけんだより お知らせ さんけんだより 上高地山研プチ・コンサート 新会員のための「焼岳登山とウエ 実行委員長・小倉茂暉 六四六 開所の春を待っています 新米管理人奮闘記・最終回 今年も上高地でお待ちして 新米管理人奮闘記・3 新米管理人奮闘記・2 新米管理人**奮闘**記·5 新米管理人奮闘記・4 木村太郎・弥生 六四四 木村太郎・弥生 六五〇 木村太郎・弥生 六四二 木村太郎·弥生 六四 木村太郎・弥生 青年部共催 六四七 関塚貞亨 六〇三 木村太郎 六四〇 大場悠平 六〇三 (S) 六四七 六三九 六〇一 六〇一 六〇二 六〇一 六四六 六三九 岩橋崇至写真展「名水―黒部の流れ」と岩橋 第三回写真展「心に写る山々」を終えて 千葉工業大学ナンガ・パルバット登山報告会 コルム研究会 ジャック93会だより お知らせ 94年度同期会 日本百名山の深田久弥と山の文学展 崇至ギャラリートークのお知らせ 丹水会第二十八回集会 畦ヶ丸へ 三水会現地集会 あんころ餅と薬湯の集い 爽やか山行 猪狩山—猪鼻 緑爽会 お知らせ 丹水会十五周年記念集会 お知らせ 第十五回ヒンドゥークシュ・カラ 山をテーマの三人展、今年も開催 エーデルワイスの世界展 し) 貝化石層 ケッチクラブ 第五回山好きの山の絵展開催 アルパインス お花見ハイクのご案内 ジャック33会 六〇八 講演・ブナの森を語る 第六回赤シャツの集い エベレスト ウイメンズ・サミット開催 三水会二十周年記念山行 天覧山 今井喜美子さんを囲む会 山の生き字引! 水彩と色鉛筆による旅のスケッチ 一火会だより 二水会創立二十周年記念 お祝いの集い 一火会現地見学会のお知らせ アルパインフォトクラブ・北村義男 ブナ林に想いを馳せて 二火会・熊谷とも子 六〇四 四尾連湖・水明荘 石光久仁子 勝田房治 井上公利 六〇七 樋口公臣 高橋重之 六〇六 藤井正彦 小岩清水 岩切岑泰 (きおろ 六〇七 六〇五 六〇八 六〇六 六〇八 六〇五 六〇五 六〇五 六〇八 六〇八 六〇四 六〇三 六〇三 六〇三 六〇八 六〇五 六〇五 六〇四 六〇三 六〇九 乗鞍温泉ハイクのご案内 91同期会 三水会九六初詣 西上州・不二洞鍾乳洞 爽やか山行・子の権現お知らせ 緑爽会 六〇九 第二十一回中部博之山の絵展 お知らせ お知らせ お知らせ お知らせ 風岩山行 細井澄子 古谷聖司 滝沢芳章 ヒマラヤに架ける夢53~96写真展 第三十八回有志閑談会 お知らせ 岩橋崇至写真展 後立山連峰山行のご案内 山げらの会 戸隠クロカンスキー ジャック93会 三水会現地集会 甲州二十六夜山 お知らせ 武州竹寺・豆口峠 三水会・滑志田隆 六一二 丹水会十五周年集会 記念行事と権現山・屏 お知らせ 牧潤一「ヒマラヤ・パノラマ展」 丹水会第三十回例会 寄から檜岳へ 亭で開催 一火会見学会 つくばの地質標本館と宇宙セ 一火会現地見学会 筑波・地質標本館ほか 九九二年同期会 早池峰の花を愛する女性の集い 秋の栗駒山へ集合! 藤江幾太郎・第四十一回山の画展 藤江幾太郎·尾瀬油絵展 創立六十周年記念・日本山岳画協 箱根・お花見登山集会 武川岳・第二回懇親山行

敞 六一二

六〇

六 0

六〇九

六一二

																										Ш	65	1 —	199	9 ·	8 • :	20	(第:	二性	1野1	更物	認可)
ジャック93会第五回登山集会 栗駒山	ンスケッチクラブ 六二〇	お知らせ 第五回山好きの山の絵展 アルパイ	菊川忠雄 六二〇	94同期会第三回懇親山行 - 鹿島槍ヶ岳	高橋重之 六二〇	三水会現地集会 静岡・竜爪山	お知らせ 第十回後藤三男油絵展 六一九	お知らせ 伊吹山スキー登山55同期会 六一九	樋口公臣 六一九	三水会第三四三回現地集会 笠取山—雁坂峠	萩田 實 六一九	92年同期会 上高地・第三回懇親山行	勝田房治 六一八	三水会現地集会 あんころ餅と薬湯の集い	お知らせ 岩切岑泰個展 六一七	お知らせ 山をテーマにした三人展 六一七	高橋重之 六一七	三水会現地集会 大山北尾根・春缶沢	新生を目指す土曜会 神谷恭平 六一六	懇親ハイキングのお知らせ 95同期会 六一六	緑爽会 六一六	お知らせ 爽やか山行 道志・鳥ノ胸山	根山 佐々木ヨシエ 六一六	JAC95同期会第一回懇親山行 奥日光·白	<b>染</b> 谷美佐子 六一六	二火会森林勉強会 身近な自然・雑木林	神崎忠男六一六	中華民国訪日友好登山隊・同行記	92年度同期会 六一五	お知らせ 92年度同期生山研に集合!	ジャック93会 六一五	お知らせ 栗駒山に集合!	大正の日本」 大森久雄 六一五	お知らせ 写真展「ウエストンの見た明治・	柳下棟生六一五	第五回海外遠征 伊豆・八丈島と小島	三好まき子 六一五
坂倉登喜子さんの出版記念会 勝田房治 六二五	96同期会が発足しました 飯田邦幸 六二五	登澤克禮 六二五	96同期会 サクラハイク浅間嶺親睦登山	します 神谷恭平 六二五	土曜会・赤シャツグループ 近況をお知らせ	映画「白き氷河の果てに」上映会 六二四	お知らせ 一九七七年日本K2登山隊の記録	お知らせが船越好文山岳写真展 六二四	お知らせ 高橋てる子・山・山の絵展 六二四	開催 大森久雄 六二四	お知らせ ウエストン写真展 松本と東京で	95同期会 六二四	お知らせ 奥日光・光徳で懇親の集い	お知らせ 第六回懇親山行 92同期会 六二四	95同期会 六二三	お知らせ 新緑の上高地・山研で懇親会開催	中高年赤シャツ山行 坂倉登喜子 六二三	樋口公臣 六二三	三水会現地集会 竹寺・子の権現山	六三二	お知らせ 森林インストラクター資格試験	展	お知らせ 「風よ、山よ、空よ」山彩グループ	土曜会・赤シャツグループ 六二二	お知らせ 甲州高尾山・桃の花見の宴	94・95同期会 六二二	お知らせ 笹子雁が腹摺山登山	山行 石田稔郎 六二二	三水会第三五一回現地集会 父不見山・新年	山岳美術館長 六二二	安曇野山岳美術館移動展	終わる 杉本 誠 六二	写真展「ウエストンの見た明治・大正の日本」	お花見ハイクのご案内 ジャック93会 六二二	森 武昭 六二	丹水会第三十一回例会 大山山頂と南尾根	北山久雄 六二一
お知らせ 花の百名山ハイク	山げらの会 六三三	お知らせ クロスカントリー・セミナー	お知らせ 96同期会第一回講演会 六三二	が公開 熊崎和宏 六三一	映画『セブン・イヤーズ・イン・チベット』	赤シャツについて 神谷恭平 六三一	奈良千佐子 六三一	95同期会 紅葉の山と里の歴史探訪	ンティア隊員募集	ヒマラヤン・グリーン・クラブ'9 国際ボラ	お知らせ 新年ナベ山行 95同期会 六三一	その後 山口節子 六二九	「サリーンさんのライフワークを支援する会」	永田秀樹 六二九	「冠松次郎と黒部渓谷」展によせて	六元	お知らせ 原真・松沢節夫油彩画二人展	の思い出を語る 岩堀瑞子 六二八	第三十九回有志閑談会 個性豊かな先輩たち	95同期会 六二七	お知らせ 紅葉の秋山と里の歴史探求	92同期会 六二七	お知らせ(第五回懇親山行及び懇親会)	六二七	ビールパーティーへのお誘い 集会・二火会	94同期会 六二七	お知らせ 鈴鹿御在所岳登山	召田俊雄 六二七	92同期会第四回懇親山行 三頭山	山 狩野芳郎 六二七	丹水会第三十二回例会を勝野芸術の家・石砂	代)富士山麓の樹海に学ぶ(宮澤美渚子) 六二七	一火会現地観察会  函南原生林を歩く(鈴木裕	ジャック93会 六二六	お知らせ(錦秋の秋田駒ヶ岳へ)	お知らせ 松田敏男・山の版画展 六二五	お知らせ 日本山岳画協会展 六二五
お知らせ、ビールパーティーへのお誘い	神谷恭平 六三九	散文的レポート 赤シャツ土曜会新発足	石田稔郎・錦織保清 六三九	三水会初の海外登山(韓国の雪岳山	座 山げらの会 六三八	お知らせ 自宅でできる自主トレーニング講	お知らせ 秋の山行案内 ジャック93会 六三八	92同期会 六三八	お知らせ 第七回懇親山行 富士山へ	加藤恒彦 六三八	ジャック93会第八回登山集会 甲州高尾山	高木康雄 六三八	三水会現地集会 西上州・塚山	大森久雄 六三八	トリノ、豊田、豊科で日本の山岳写真展	一九九八年日本山岳画協会展お知らせ(六三七)	ク 97同期会 六三七	お知らせ 秋の草花を訪ねる箱根湯坂路ハイ	る場所」 六三六	お知らせ 山本茂富展覧会「太陽の匂いのす	94同期会 六三六	お知らせ(高所登山に関する講演・懇談会)	ー・セミナー 鈴木裕代 六三六	山げらの会妙高高原のクロスカントリースキ	現 樋口公臣 六三六	三水会第三七二回現地集会 竹寺から子の権	「赤シャツ土曜会」新出発 神谷恭平 六三五	95同期会企画 集会委·静岡支部協賛 六三五	お知らせ 歴史探訪の散策「富士新登山歩道」	不動へ 石田稔郎 六三五	三水会第三七〇回現地集会 越生梅林~高山	ジャック <b>93</b> 会 六三四	お知らせを春の山行案内	新年山行 樋口公臣 六三四	三水会第三百六十八回現地集会 鐘撞堂山	三水会裏高尾・忘年山行 高橋重之 六三四	34同期会 六三三

山 651-	1999 ·	8 · 2	20 (	第:	二種	野19	色物:	認可	)																									
チョゴリザ初登頂四十周年(記念講演会・記86同期会第二回山行)武奈ヶ岳	三水会第三八三回現地集会 泣面山		93会第九回登山集会 紅葉のみ	お知らせ 96同期会第二回講演会 六四三	山げらの会 六四二	お知らせ 自宅でできるトレーニング講座	アルパインフォトビデオクラブ 六四二	お知らせ(第六回写真展開催)	召田俊雄 六四二	92同期会第七回懇親山行(富士山)	勝田房治 六四二	三水会現地集会 丹沢大山集中登山	妹尾幸雄 六四一	赤シャツ土曜会 清里・岳酔荘の懇親会	アルパインフォトビデオクラブ 六四一	お知らせ 山岳写真展開催	クール〜体感! ヒマラヤ保全協会 六四〇	お知らせ 第七回ネパール山岳エコロジース	非ご連絡ください 栗林一路 六四〇	クリスチャンで山岳信仰に関心のある方、是	お知らせ 岩切岑泰個展 六四〇	二火会 六四〇	お知らせ、ミニアコンカ翻訳裏話	94同期会(93・95同期会協賛) 六四〇	お知らせ、秋の鈴鹿御在所岳散策・懇親山行	アルパインフォトビデオクラブ 六四〇	六四〇	ワルテル・ボナッティ氏来日記念講演会	心の連衆 石岡慎介 六四〇	岡澤祐吉 六四〇	大町山岳博物館で第四回山岳画協会展	96同期会 六三九	お知らせ 第二回山行「山友の山を旅する」	二火会 六三九
高原で開催 七里 直 六四九山げらの会 第二回クロカンセミナー 妙高 96年同期会 六四八	お知らせ 第三回「岳友の山を旅する」 、	「アルバータ峰のピッケル物語	お知らせ 山岳写真巡回展 六四八	三井吉由江 六四八	年と健康スポーツ」に参加して	九九年健康スポーツ・シンポジウム―「中高	橋崇至 山の世界」のお知らせ 六四七	写真展(〜槍・穂・ロッキー・白頭山〜「岩	92同期会 六四七	お知らせ 第八回懇親山行・八ヶ岳	田久保勇治 六四七	三水会現地集会 奥武蔵・竹寺山行	六四六	お知らせ 山本茂富個展「陽の中で風と遊ぶ」	山げらの会 六四六	お知らせ 自宅でできるトレーニング講座	お知らせ ウエストン展に資料協力を 六四六	山 石田稔郎 六四六	三水会第三八七回現地集会 新年山行・雨降	國見ゆみ子 六四六	丹水会第三十五回例会 三国山・湯船山へ	お知らせ 高橋てる子 山・花の絵展 六四五	お知らせ 春の山行案内 ジャック93会 六四五	97同期会 六四五	お知らせ 春の箱根湯坂路ハイク	アルパインスケッチクラブ 六四五	お知らせ 第八回山の絵展開催	三水会現地集会 高尾山 石田稔郎 六四五	お知らせ 後藤三男油絵・水彩展 六四四	山げらの会 六四四	お知らせ クロスカントリー・セミナー	山げらの会 六四四	お知らせ 自宅でできるトレーニング講座	念パーティー 平井一正 六四四
秋田支部 春の北林岳山行 福田光子 六〇四(西孝子) 六〇四(西孝子)	華やかに開催(岐阜・京都ブロックの行事)日本山岳会創立九十周年記念ブロック別式典		東海支部 伊吹山播隆祭のご案内 六〇三	大谷 優 六〇三	宮崎支部 諸塚山開き―十回の節目に思う	佐々木民秀 六〇三	秋田支部 四月の支部総会報告	六〇二	岩手支部 九十周年記念式典・東北ブロック	山梨支部 六〇一、六〇二	お知らせ 九十周年記念式典・中部ブロック	岐阜・京都ブロック行事 六〇一	お知らせ(創立九十周年記念)	長岡伸恭 六〇一	山形支部 蔵王・樹氷林を滑る会	北海道支部 冬の十勝連峰 大久保五郎 六〇一			支部青報		沼田俊雄 六五〇	92同期会第八回山行 八ヶ岳	高橋重之 六五〇	三水会海外山行2 台湾・玉山	石田稔郎 六五〇	三水会海外山行1 韓国・智異山	写真展 羽田栄治 六五〇	フォトビデオクラブ―ギリシャ・アテネ市で	お知らせ 平沢利夫「山の絵展」 六四九	ます 95同期会 六四九	お知らせ 奥日光、光徳で懇親例会を開催し	お知らせ 日本山岳画協会展 六四九	山げらの会 六四九	お知らせ 自宅でできるトレーニング講座
記念式典・山行 大久保五郎 六〇九北海道支部 北海道プロック 創立九十周年	富山支部 立山・黒部撮影会の報告に代えて東海支部 伊吹山播隆祭 中世古隆司 六〇八	菅原富貴 六〇八	山形支部 秋期例会 甑山·名勝沼	グ 高澤光雄 六〇八	北海道支部 野幌森林公園自然観察ハイキン	ロック行事報告 中川博人 六〇八	石川支部 日本山岳会九十周年記念 北陸ブ	海ブロック 六〇七	お知らせ 東海支部 九十周年記念式典・東	静岡支部・西郷正郎 六〇七	エコロジストへの道② 遊戯から真面目へ	ク                六〇六	お知らせ 九十周年式典 関西・山陰ブロッ	静岡支部・西郷正郎 六〇六	アルピニストからエコロジストへの道①	式典・記念山行 岩手支部・佐藤英夫 六〇六	日本山岳会創立九十周年 東北ブロック記念	蔵王熊野岳・清掃登山 今野秀穂 六〇五	山形支部 清水弥栄治会員の追悼をかねて	佐々木民秀 六〇五	秋田支部 白神山地・長場内岳登山	越後支部・田邊信行 六〇五	中部ブロック記念山行 編笠山登山	信濃支部・小松正志(六〇五)	中部ブロック・記念山行 仙水峠・仙丈岳	登山の将来像」 伊藤 敞 六〇五	式典とフォーラム「南アルプスの山岳環境と	日本山岳会創立九十周年 中部ブロック記念	清水芳彦 六〇四	岐阜支部 支部総会と桑崎山登山	植松晃岳 六〇四	信濃支部 雨のウエストン祭	折原栄悦 六〇四	山形支部 神室連峰・八森山

東海支部・篠崎純一 六三〇	高橋桓志 六二六	越後支部・創立五十周年・記念行事多彩に展	信濃支部(第五十回ウエストン祭)関係者に
			あいましている。直後さ
	て 1 5		5
第十四回全国支部教教会を開催しています。	新級の 気優山名		
	近長の 三川 山口	村著作名 克里 美十七名	文形を、別文形をつざむ マコ
六三〇	一ツ岳		
年十一月広島支部が	宮崎支部 九州中央山地の旅 扇山・向坂山	ション「中高年問題」を中心に 長坂博 六一九	熊本支部 平成八年度支部総会報告
池の山旅 井野元繁 六二九	インして 信濃支部・金光義朗 六二四	平成八年度全国支部懇談会パネルディスカッ	佐々木松男 六一四
宮崎支部 平家落人伝説を訪ねる白鳥山・御	ウエストン祭のポスター、記念手拭いをデザ	を終えて 伊達篤郎 六一八	北海道支部 南日高・楽古岳山行
<b>溝部忠増</b> 六二九	石井久夫・田上敏行 六二四	宮城支部 仙台が誇る「山の先達・二人展」	平成八年度全国支部長会議     六一四
福岡支部 鬼ヶ城で「盧さん追善の集い」催す	熊本支部を季例会・牛ノ峠山行	岳と銀の道 小倉 厚 六一八	山・追悼登山 清水芳彦 六一三
遠路大朝日岳へ 藤井法道 六二九	山形支部 冬の笹谷峠 木村喜代志 六二四	越後支部 創立五十周年記念山行 越後駒ケ	岐阜支部 石井恵美子さんを偲ぶ 小津権現
藤田純江 六二九	西孝子 六二三	縦走 大場貞吉 六一八	演会 吉村健児 六一三
岐阜支部(クラソ明神春季小集会)	東九州支部(筒ヶ岳雪遊び山行)	山形支部 秋田駒ヶ岳から乳頭山(烏帽子岳)	福岡支部 マナスル初登頂 四十周年記念講
事務局・佐々木 六二九	佐々木松男 六二三	岳·祇園山) 井野元繁 六一八	東海支部 全国支部懇談会のお知らせ 六一三
秋田支部 春の山行は中岳・四角岳	北海道支部 白井岳雪中露営	宮崎支部 九州島発祥の山(九月定例山行揺	秋田支部 六一二
山形支部 栗駒山を行く 長岡五百子 六二九	知らせ 山梨支部 六二三一	その三・太平山(鈴木要三) 六一八	お知らせ 一九九六年度東北ブロック集会
高所登山隊 長坂 博 六二九	第三十五回木暮理太郎翁碑前懇親会開催のお	沼沢山(佐藤税) その二・岡田山(進藤昭)	佐々木民秀 六一二
東海支部 チャルン峰初登頂―第五次中高年	記念山行 山村正光 六二二一	秋田支部   岡田支部長の古希を祝う その一・	秋田支部 キナバル登山報告
東海支部 六二九	山梨支部第三十四回木暮理太郎翁碑前祭と	めた太平山登山 佐々木民秀 六一八	る第十二回総会 井野元繁 六一二
お知らせの第三回伊吹山播隆祭	高橋 治 六三一	秋田支部 東北ブロック秋田集会 懇親を深	宮崎支部「宮崎百山」の発刊を目指す―燃え
石川支部 六二八	山形支部 屋久島・宮之浦岳登山	岐阜支部 山岳講演会のお知らせ 六一七	会 山梨支部 六一一
お知らせ 石川支部創立五十周年記念行事	登山 玉山・雪山(佐々木民秀) 六二二一	平均六十一歳全員登頂 村松哲彦 六一七	お知らせ第三十四回木暮理太郎翁碑前懇親
記念登山 熊本支部 六二七	秋田支部 東山・秋山山行 (宮田菊雄)、友好	岐阜支部 モンゴル・オトゴンテンゲル峰	会 井後幸太郎 六一一
お知らせ(熊本支部設立四十周年記念集会と	塚原賢勝 六二二一	阿部勇作 六一七	北海道支部 無意根山雪中露営と山スキーの
福島支部 六二七	信濃支部 創立五十周年記念行事を開催	山形支部 八月例会 尾瀬・会津駒ヶ岳山行	加賀谷立身・鎌田倫夫(六一一)
お知らせ 平成九年度東北ブロック集会	高澤光雄 六二二	宮本数男 六一七	秋田支部 駒頭ノ森・俎山、藪こぎ山行
宮崎支部 ササユリ山行 井野元繁 六二七	北海道支部 盛況だった支部晩餐会	福井支部 96夏休み・親子白山登山	水沢富一郎 六一一
清水芳彦 六二七	菅原富喜 六二一	佐藤節子 六一六	山形支部 蔵王・樹氷原を滑る会
岐阜支部 台湾の能高山へ登頂	山形支部 晩秋の神室連峰・小又山	山形支部 裏磐梯猫魔岳·雄国沼行	本山岳会九十周年記念式典 金井良碩 六一一
宮城支部 寒風山山行 高野笑美 六二七	親登山 清水芳彦 六二〇	エストン祭 中村 勉 六一六	関西支部・山陰支部 関西・山陰ブロック日
高澤光雄 六二七	岐阜支部 第二十三回山岳講演会と貝月山懇	青森支部 郷土の恩人を偲ぶ 第五回青森ウ	清水芳彦 六一〇
北海道支部 岩登り同好会・小樽赤岩	井野元繁 六二〇	「東海山岳・七号」 発刊案内 六一六	岐阜支部 台湾の北大武山に登頂
穂苅康治 六二七	宮崎支部 晩秋の祖母山を満喫	お知らせ 伊吹山播隆祭 東海支部 六一五	ロック晩餐会・行事 長坂 博 六一〇
信濃支部 第五十一回ウエストン祭	船形連峰・後白髪山(高橋功) 六二〇	清水芳彦 六一五	東海支部 日本山岳会九十周年記念 東海ブ
越後支部 六二六	宮城支部 焼石連峰・牛形山 (大橋克也)、	岐阜支部 支部総会と六十八名の寺地山登山	文学大賞受賞 村上義千代 六〇九
全国支部懇談会開催のお知らせ	今野秀穂 六二〇	体験! 高橋 治 六一五	青森支部 根深誠さんが本年度のJTB紀行
清水芳彦 六二六	山形支部 後立山連峰唐松・乗鞍岳	山形支部 六月例会山行・長葉登山で神事を	清水芳彦 六〇九
岐阜支部 支部総会と滝波山登山	開 五十嵐篤雄 六二〇	感謝状を贈呈 武田武人 六一五	岐阜支部 井出小路山・秋季懇親山行

芦生の森を歩く(その三)雨にかすむ幽玄の 岩、福岡支部・竜良山・白岳・御岳 わが支部とっておきの一山/信濃支部 岐阜支部 岐阜支部 支部総会と輝山登山 秋田支部 戸来岳 (大駒ヶ岳・三ツ岳) 第十回藤木祭を迎えて お知らせ

北海道支部 第一回作品展開催

大ゾレ山・秋季懇親山行 野田四郎 六三三

山梨支部 第三十七回木暮理太郎翁碑前祭を 山村正光

柳田勇悦 六四 〇

岐阜支部 日永岳·春季山行 久野菊子 わが支部とっておきの一山、 / 東海支部・明神 六四〇 六四〇

岐阜支部

宮崎支部

国見山の名に恥じない眺望

六三四

静岡支部

熊伏山懇親山行・平成十年新年会

井野元繁

六三四

山、宮城支部・オボコンベ、北海道支部・大

支部五十年を語る立山登山 富山支部創立五十周年記念式典 第二十四回山岳講演会と能郷白山 木戸繁良 六三 六三二

お知らせ

芦生の森を歩く 東海支部と京都支部の交歓 橋村一豊 六三三

宮崎支部

九州四支部大会宮崎の集い

井野元繁

六三六

わが支部とっておきの一山/青森支部・戸来

木村喜代志

六三六

宮崎支部

「みやざき百山」宮崎日々新聞に

芦生の森を歩く(その四)幻の古代杉を訪ね

六四

六四

の森、東九州支部・硫黄山 わが支部とっておきの一山

/京都支部・芦生

六四五

全国二十四支部事務局担当者が集いました

高橋功・千田早苗

六四

三秀台に響いたアベマリア―第十 尖山・祖母山登山 井野元繁 六三三

三回宮崎ウエストン祭

宮崎支部

福岡支部 四十周年記念中国雲南の旅―麗江

納西族自治県迪慶チベット族自治州

渡部秀樹 六三三

山、岩手支部·岩手山

六三七

東九州支部

別府湾リレー登山

わが支部とっておきの一山/山陰支部・烏ガ

熊本支部 支部総会を開催

田上敏行

六三七

藤野和男

六三七

山梨支部

支部創立五十周年記念集会

六三三

北海道支部

黒岳・雪洞山行

の雪の森林 芦生の森を歩く(その二)北山型民家と静寂 秋田支部 平成九年度支部山行

佐々木民秀 六三七

猿山昌夫 六三六

山、広島支部・苅尾山(臥龍山)

全国支部懇談会 男鹿半島で「お山かけ」

六四

部・加無山 岳、宮崎支部・大崩山・湧塚・岩峰、 わが支部とっておきの一山/福井支部・平家 、山形支 六四二

信濃支部 第二回ミセス・ウエストン祭 金子誠吾 六四二

> 秋田支部 八塩山に登る 夕べと記念登山

岡田光行 井野元繁

六四七 六四七 宮崎支部「みやざき百山」

執筆完了―祝賀の

村井 葵 六四七

北海道支部 ニセコ・目国内岳雪洞登山

福岡支部 岐阜支部 韓国・雪岳山へ 清水芳彦 梅木秀徳 六四

> 宮城支部・水引入道山、 西支部・小豆島・栂缶、

わが支部とっておきの一山/PARTⅡ 関

山梨支部·大久保山 静岡支部・大無間山.

宮崎支部 第十回ウエストン祭 ナムナニ峰登頂と辺境の旅 美 六四三 六四

越後支部・光兎山、信濃支部・御座山 六四七

第三十八回木暮理太郎翁碑前懇親

福岡支部・雲仙普賢岳、岩手支部・焼石岳、

お知らせ

わが支部とっておきの一山/秋田支部・丁岳 井野元繁 六四三

お知らせ

第八回今西祭

東九州支部

六四七

山梨支部

六四七

越後支部

ニュージーランド南島トレック

横山征平 六四八

チョモランマ・BC探訪

清水芳彦

六三九

・天狗

六三九

主管・秋田支部

六三八

全国支部懇談会開催

藤田純江

六三八

関西支部・ロックガーデン・トレイル、 静岡 六四三

岐阜支部 福島支部 第二十五回山岳講演会 五十周年記念誌「やまなみ」 佐久間高男 一出版 六四四

北海道支部 三十周年記念行事のご案内

宮本数男

福井支部「とっておきの山」にちなんで

浅野清彦

鈴木美代

六三九

創立四十周年記念行事開催 本田誠也 六三

石川支部 熊本支部 津田文夫 六三

山形支部 展望満喫・真昼岳・和賀岳 高橋 治

岐阜支部 済州島のハンラ山親善登山 六三

温泉に五十四名が集う 福島支部 平成九年度東北ブロック集会 岳 安藤 治 六三 六三

岐阜支部

山形支部 蔵王スキー懇親会 わが支部とっておきの一山/富山支部・金剛 堂山、熊本支部・仰烏帽子山

第三十六回木暮理太郎翁碑前懇親会のお知ら

全国支部事務局担当者会議

**絹川祥夫** 六三五

水野公男

六三四

お知らせ 第四回伊吹山播隆祭

東海支部

六四C

六四〇

山梨支部 六三五 六三六

信濃支部 宮城支部 知られざる山赤崩へ 員ら参加者は四百名余 塚原賢勝

第五十二回ウエストン祭 新入会 六四

お知らせ 山岳講演会 岐阜支部 六四

山、岐阜支部・笠ヶ岳、福島支部・二ツ箭山 わが支部とっておきの一山/越後支部・蒜場 村田正春

岐阜支部 秋季集会「雨乞岳」 六四五 岩手支部 士、石川支部・白山加賀禅定道 わが支部とっておきの一山/山梨支部・黒富 お知らせ 大雪山黒岳スキー技術研究会 そっとおきの秋峰 真昼山 北海道支部 六四四 六四四

秋田支部 台湾・秀姑巒山登山 清水芳彦 六四四

六四四

(15)

芦生の森を歩く(その五)しぐれと紅葉の由 青森支部・大盡山、熊本支部・上福根山、福 子吼山、山形支部・瀧山、山陰支部・船上山、 わが支部とっておきの一山/石川支部・奥獅 岐阜支部·屏風山 山、福井支部·取立山、東九州支部·由布岳、 京都支部・峰床山と八丁平、広島支部・十方 山、宮崎支部・双石山、北海道支部・十勝岳 わが支部とっておきの一山/富山支部・大笠 六四八

## お知らせ 全国支部懇談会開催

六四九

追悼

島支部・霊山、秋田支部・三森山、東海支部

中国タクラマカン砂漠縦断(清水芳彦)六五〇 岐阜支部 モッコ岳 秋田支部 支部総会と七洞岳登山(藤田純江) 創立四十周年記念山行—第一弾— 主管・岐阜支部 六四九 佐々木民秀 六五〇

追悼

入澤郁夫さんを偲んで 豊田泰

六0九

## 人事往来

同好会担当者名簿 (一九九六年度五月現在) 会員が受賞 第三十二回秩父宮記念学術賞 春田、大貫両 新名誉会員紹介 平成七年度 理事・監事・評議員 渡辺兵力 六一 六〇七 六〇二

本会最長老中沢眞二名誉会員の近況

六一三

松田雄一 六三 六二六

ハリッシュ・カパディア氏夫妻の来日 平成九年度理事・評議員

今西邦夫氏、ネパール王国大阪名誉総領事に 六三四 六三五

> 平成十一年度理事・監事・評議員 ボナッティ氏との一日 W・ボナッティ氏の礼状 川見博美 六四七 六五〇 六四六

## ▼訃報・追悼

追悼・橋本誠二さん 辰沼廣吉さんを語る会 故秩父宮勢津子妃殿下をお偲びして 追悼 永尾和夫君を偲ぶ 朝比奈英三 田邊壽 長田正行 六〇三 六〇四 六〇三

計報 短歌 土肥正毅会員追悼一周忌に 秩父宮妃殿下ご薨去 中村純二 渡辺兵力 六〇五 六〇五

今西壽雄元会長を偲ぶ 伊佐九三四郎 六〇五

追悼 今西壽雄元会長お別れの会 阿部和行 今西壽雄さん 日本登山界の巨星消え 大塚博美 斎藤惇生 六0九 六0九 六〇七

追悼 追悼 金山淳二さんを偲ぶ 田邊史さんを偲ぶ 大澤伊三郎先輩を偲ぶ 大澤伊三郎名誉会員 石井恵美子さん 中村純二 佐藤晴夫 石田要久 六0九 六一〇 六0九 六一四

秩父宮妃殿下を偲ぶ会 助会員逝去 訃報 マナスル登山隊などで活躍の千谷壮之 春田俊郎先生を偲んで 岸 栄 六一八 林田正幹さん 山の友よ―即興的に 松田雄一 石田喜八 六一九 松田雄一 岩間弘雄 六一四 六二八 六一六

追悼 徳島和男・涸沢に斃る 尾上昇 名誉会員サリーンさん 梶正彦 小西政継さんを想う 田邊 壽 クリシュナ・B・バルマ氏突然の訃報 六五五 **六**三 六二〇

中澤眞二名誉会員を悼む 福田宏年先生を偲ぶ 中村太郎 神崎忠男 六三六

追悼

追悼 大屋悌二さんを偲んで 吉永英明 六三三 元会長今西壽雄さんを偲ぶ会 村井葵 今井友之助先輩を悼む 飯野 亨 山と人と本と―吉沢一郎氏を悼む

赤坂謙三君、椎名厚史君の追悼会 福田宏年さんを語る会 中村太郎 石原 脩 六三九 六四〇

ペーパー・ロード

六〇五 六〇四 六〇三

村井 葵

島寛のこと 追悼 今西壽雄さんの散骨 田口二郎さんに頼まれたこと 岡澤祐吉 六四四 懺悔したかった田口二郎さん 栗林一路 六四三 人生六十年、駆け抜けた男―畏友、中 依田孝喜氏 田口二郎会員を偲びて 渡辺兵力 六四二 川崎泰男会員逝く 木村俊博 六四三 宗實慶子 六四三 六四七 六四四

海外登山情報

### **◆**一般

続素美代会員のエベレスト登頂報告会 スル登山隊一九九七 総隊長・大塚博美 六三三 四十一年ぶりのマナスル再訪 明治大学マナ 絲綢之路の未踏峰 海外自然保護情報 バチェクに登る 新潟県山岳協会隊 エベレスト登山隊 未踏の北東稜からエベレスト登頂―日本大学 韓国の漢拏山全面入山規 カムチャツカの高峰トル 隊長・神崎忠男 六〇二 川上 隆 六二七 小倉 厚 六〇五 石田稔郎 六二二

崗嘎普松峰偵察 五〇歳から八〇〇〇m峰へ ガッシャブルム 伊丹紹泰 六四五 六四六

村井 葵

六四〇

ヒマラヤ情報と能海寛 ブクレーエフの遭難

シルバータートル隊・渡邉玉枝

高所での生と死

六三〇 六二九 ▼海外の山

六三四 六三二 「ブラック・サマー」再び チベット人のヒマラヤ 「サミット」の印象 トムとケイトの母親がやったこと (江本嘉伸)

インド隊のチョモランマ遭難 旧ソ連・高峰の帰属とアルピニズム エベレスト悪夢の一日 ふたつのK2 女の挑戦とポカラ博物館 アスコーレ村への思い てっぺんの料金 日本山岳会の明日 山岳旅行の覚悟 コスタリカの山と人 六二三 六一一 六二二 六一〇 六〇九 六〇八 六〇七 六〇六

ロシアの流儀 サウスコルから一年後の帰還 登山の「評価」について ある大学〇Bの情熱 デナリ冬期初登頂の真実 エベレストの真実 K2―二つの快挙 インターネットのヒマラヤ 五三〇〇mのロッジ計画 若きシェルパの生と死 小西政継マナスルに消ゆ 六三二 六二 六二〇 六一九 六二八 六一七 六一六 六 六 五 四 六 三

ヒマラヤの新世代 クラカワーのエベレスト報告 六 六 六 元 元 天 六 六 五 远

「人間形成」について 六三 六三〇

山先生たち

六三二 **六三四** 六三三 六三五

エル・キャピタン初見一撃 トロワィエの「幻覚」

女性クライマーとファッション

山 651-	-1999 ·	8 · :	20	(第:	三種	郵信	更物	認可	[)																									
R2登山隊   九九六 盛大にや養者生会   日本山岳会青年部 ダウラギリI峰登山隊 六一八   伊藤 敵 六一八			南川金一 六一三	K2登山隊一九九六 盛大に壮行会を開催	青年部・宇田川芳伸 六一三	平均年齢二十六歳のK2登山隊元気に出発	賞 渡邊雄二 六一〇	マカルー登山隊一九九五 日本スポーツ賞受	青年部・山本 篤 六一〇	世界第二の高峰・K2に挑む	青年部・学生部・絹川祥夫 六〇六	ムスターグアタ山群の未踏峰全員登頂に成功	マカルー登頂の報を聞いて 山田二郎 六〇三	周年に花を添え盛大に開催 南川金一 六〇三	マカルー登山隊一九九五・報告会 創立九十	マカルー東稜・登頂記 山本 篤 六〇二	マカルー通信・10~13 六〇一	隊長・重廣恒夫 六〇一	マカルー峰東稜より登頂に成功!	一人   一人   一人   一人   一人   一人   一人   一人	人の変し水目を	中国人の七大洲最高峰登頂 六五〇	マロリー、やはり未登頂か? 六四九	マロリー、発見! 六四八	シャングリラと熟年探検隊 六四七	サムライ・クライマーの死 六四六	エヴェレスト韋駄天登頂の意味 六四五	若者にどう対するのか 六四四	35年目のクロスピーク 六四三	ボナッティの日々 六四二	モンブランの遭難 六四一	山頂の酸素ボンベはいかが     六四〇	ジネット・ハリソンの八〇〇〇m計画 六三九	モデュイ ダウラギリに死す 六三八
カンカー・フンスム崎登山陶計画処別の経経 ホルンカー・フンスム崎登山陶計画処別の経経 ホ四七	ブンコ ・プンス (番巻)口啄十町正明の圣草田本・ネパール友好と親善レセブション	キング 安部一孝 六四五	アンナプルナ・ダウラギリ山岳展望トレッ	高橋 浩 六四五	シバプリ植林体験と展望トレッキング	グ 小倉董子 六四五	秘境ムスタンへの道 ジョムソンハイキン	JACネパールトレッキング	記 隊長・蛭田弥希 六四五	未知の山域へ 学生部ブータンヒマラヤ登攀	隊長・谷川太郎 六三七	カンチェンジュンガ登頂、そして遭難	隊長・谷川太郎 六三六	カンチェンジュンガ通信	隊長・谷川太郎、山本茂久 六三五	カンチェンジュンガへの道	壮行会を開催 青年部 六三五	「カンチェンジュンガ登山隊一九九八」盛大に	隊長・谷川太郎 六三三	カンチェンジュンガを目指して	隊長・松原尚之 六三二	岳会青年部 ダウラギリI峰登山隊一九九七	DHAULAGIRIの五十三日間 日本山	隊長・松原尚之 六三一	DHAULAGIRI通信·4、5	隊長・松原尚之 六三〇	DHAULAGIRI通信·2、3	K2西壁初登攀の記 鈴木幹夫 六三〇	隊長・松原尚之 六二九	DHAULAGIRI通信·1	会を開催 村井 葵 六二八	ダウラギリI峰登山隊一九九七 盛大に壮行	松原尚之 六二七	九九七 シェルパレス、無酸素の試み
写真 草棒 小荒井 実 六〇五地図 カムチャツカ半島 六〇五	エッラク	1800	写真 エベレスト・ウイメンズ・サミット	写真 中部ブロック記念山行・編笠山 六〇五	六〇五	写真 快晴だが千丈岳頂上は風が強かった	六〇四	写真 お元気な今井喜美子さんを囲んで	図 スキーロボット 六〇四	写真 橋本誠二さん 朝比奈英三 六〇四	で挨拶する村木潤次郎会長      六〇四	写真 滋賀県多賀町の会場・アストロパーク	写真 辰沼さん遺影 田邊 壽 六〇三	写真 永尾和夫君 長田正行 六〇三	写真 マカルー登山報告会関係二枚 六〇三	佐藤淳志 六〇三	写真 崖の棚に作られたイヌワシの巣	写真 大空を飛翔するイヌワシの雄姿 六〇三	はがき 武田久吉の筆跡 望月達夫 六〇二	上の田辺、新井隊員          六〇二	写真 五月二十一日PM〇・四五マカルー頂	写真 挨拶する村木新会長 六〇二	総会開催 六〇二	写真 会員一五一名が出席して平成七年度の	~六一三、六一五~六一九、六四八	イラスト 中村あや 六〇一~六〇九、六一一	写真 快晴の高田大岳頂上で記念撮影 六〇一		写真 チョモロンゾ峰より見たマカルー峰東		7	図仮・写真		ブータン国境について 吉永英明 六四七
写真 祝う会で花束を贈られる根深さん六〇九写真 耐仕度でカラ谷を登る会員たち 六〇九		田邊史さん	写真 石井恵美子さん 六〇九	写真 入澤郁夫さん 六〇九	写真 今西壽雄元会長のお別れ会 六〇九	山の切手五枚(日本隊初登頂の山・I)六〇八	版画 加藤大道制作 六〇八	小島烏水翁の書簡 六〇八	写真 立山・黒部撮影会 六〇八	<b>陀堂の仏事</b> 六〇八	写真 播隆上人ゆかりの如来像を祀った阿弥	写真 山形支部例会 甑山 六〇八	写真 山岳会ルーム前に勢ぞろい 六〇八	六〇八	写真 南アルプス山小屋の昨今を語る塩沢氏	写真 北陸ブロック記念山行 六〇八	写真 三水会創立二十周年 六〇七	写真 大日ヶ岳山頂で恒例の万歳! 六〇七	六〇七	写真 マヤコフスキー・オルジョニキッゼ岳	写真 今西壽雄元会長 六〇七	山の切手二枚(マカルー) 六〇七	くメドレー氏と参加者 六〇七	写真 上高地のビジターセンターで説明を聞	景十枚 六〇七	写真 記念式典・晩餐会・フォーラム会場風	写真 記念式典で挨拶する村木会長 六〇七	山の切手三枚(雪覇聖稜線) 六〇六	写真 ガ(ゴ)ンドコロ峰関係二枚 六〇六	の未踏峰 六〇六	写真 全隊員が登頂したムスターグアタ山群	山本朋三郎 六〇五、六〇九	イラスト 南アルプスより	山の切手三枚(エベレスト) 六〇五

写真。マナスル初登頂四十周年記念切手関係	い六二	の全員集合	会員
十五人関係一枚 六二五	図 針葉樹と広葉樹の傾幹部の偏心成長の違	写真「山の先達…二人展」オープニング当日	写真 戸隠でクロカンスキーを楽しむ山げら
写真 環境に貢献した世界の女性リーダーニ	写真 偏形樹の根元は風揺れしにくい 六二一	記念山行出発前七三人勢ぞろい	切
楽譜 山の歌三枚 六二四	写真 岐阜支部貝月山登山 六二〇	写真 汗を流して乳頭山頂へ 六一八	
写真 牛ノ峠一等三角点の前で記念撮影六二四	と記念撮影	写真 若山牧水の生家に立ち寄る 六一八	写真 壮行会でK2登山隊一九九六の隊員た
写真 冬の笹谷峠・二口峠方面を望む 六二四	写真 ウエストン碑の前で五ヶ所小学校児童	写真 春田俊郎氏 六一八	図 K2南南東リブルート K2周辺 六一三
者の捜索訓練をする研修生 六二四	立つ	図 環境と森林関係二枚 六一八	六二二
写真 雪崩ビーコンとゾンデ棒を使って埋没	写真 唐松岳山頂で素晴らしい展望を満喫	山の切手五枚(初登頂記念・Ⅱ) 六一七	写真 熱気あふれる宮崎支部のメンバーたち
写真 八年度後期新入会員 六二四	六〇	表 日本山岳会図書展覧会一覧 六一七	山の切手六枚(登山者・I) 六一二
写真 壇上のパネリスト諸氏 六二四	写真 盛大に越後支部創立五十周年を祝う	六一七	ン 六二
の大崎仁理事長	六一〇	写真 BCからオトゴンテンゲル峰を望む	写真 第二十二回新入会員オリエンテーショ
写真 記念懇談会で挨拶する日本学術振興会	写真 紅葉・温泉・きのこ鍋に満悦の五四名	写真 会津駒ヶ岳山頂はもう秋の気配 六一七	写真 樹木園で説明する前田先生 六一二
写真 雲取山のオオカメノキの冬芽 六二三	写真 樹齢七〇〇年の巨木も 六二〇	写真 親子登山の参加者は一五七人 六一七	員
ルン前に勢ぞろい	会員	写真 熱心に討議する参加者たち 六一七	写真 スイスの「案内人手帳」を語る岡澤会
写真 コバルトブルーの空をバックに第一ケ	写真に槍ヶ岳診療所の四十年を語る大森薫雄	写真 K2隊関係写真二枚 六一七	図 西洋文明と登山の流れ 六一二
写真 アイスクライミング研究会二枚 六二三	写真 百年史委員会講演会関係二枚 六二〇	写真 岸辺に打ち上げられたフナの屍 六一六	図表 活性酸素について図2、表1 六一二
写真 名誉会員サリーンさん 六二三	写真 小西政継氏 六二〇	写真 雄国沼と湿原のニッコウキスゲ 六一六	写真 山研 六一一
六三	伊藤 敞 六二〇	写真 ウエストン顕彰碑の前に集う 六一六	山の切手四枚(ブータン) 六一一
表 地方・地域別普及状況、種類別普及状況	写真 平成八年度年次晚餐会関係十一枚	写真 頂上園地で憩う勉強会の一行 六一六	"うたげ』 IGO 六一一
写真 自然エネルギー利用発電関係二枚六二三	表 山岳研究所利用状況 六一九	山の切手四枚(初登頂記念・I) 六一六	イラスト ムイネ山雪洞内第一の間?での
た一	写真 奥三界山頂に登った四六人 六一九	と村木会長	一行
写真 宮之浦岳山頂では一瞬太陽が顔を出し	写真 錦繍の高塚と黒岳・天狗山頂で 六一九	写真 歓迎会で記念のペナントを手に蔡会長	写真 山形山岳会の山小屋前で勢ぞろいした
写真 上高地西糸屋前で信濃支部会員 六二二	写真 河川が増水して渡河は困難 六一九	山の切手五枚(山岳会周年記念・Ⅱ) 六一五	写真 挨拶する村木会長 六一一
修氏	写真 独特の縞模様の聖山カイラス 六一九	イラスト 八丈小島 早川 滉 六一五	夫会員
写真 「アルプ」三〇〇号の軌跡を語る三宅	山の切手二枚(クルト・シュロッサー)六一九	写真 六十八人が登った寺地山頂上 六一五	写真 第3回受賞者の春田俊郎会員、大貫良
写真 スイスアルプス博物館関係二枚 六二二	写真 AC事務所壁面の歴代会長 六一九	写真 葉山神社では田植えなどを体験 六一五	をへし折る
<b>六</b> 二	表 「山の自然を語る夕べ」実施内容 六一九	写真 四阿山では薄日も射して 六一五	写真 表層雪崩の破断面調査、大雪崩は大木
写真 巡礼路から見た未踏峰 (六五〇〇m)	上期の新入会員  六一九	「山岳史懇談会」          六一五	山の切手六枚(K2) 六一〇
六m)を望む 六二	写真 ルームの前に勢ぞろいした平成八年度	写真 出席者も桜門山岳会の会員が多かった	写真 ケルンに石を積む高木隊長 六一〇
高峰ベルー	葉英樹会員ら 六一九	写真 涵徳亭の庭園に集う三四名 六一五	写真 記念山行の誕生山山頂で 六一〇
イラスト 野田四郎 六二一〜六四九	写真 確保技術の訓練をするK2登山隊の稲	写真 長野県栄村で 六一五	写真 不二洞鍾乳洞の入り口で 六一〇
成二二	写真 林田正幹さん 六一九	写真 内モンゴルのゴビ砂漠で植樹 六一五	写真 快晴の西吾妻山スキーツアー一行六一〇
写真 自然石に銅板をはめ込んだ遭難碑が完	懇談会出席者	山の切手五枚(山岳会周年記念・I)(六一四)	写真 金山淳二さん 六一〇
写真 東西非対称地形をなす神室連峰 六二一	写真 中高年問題を熱心に討議する全国支部	写真 大澤伊三郎氏 六一四	写真 ルームに展示中の記念トロフィー六一〇
とミヤハラ氏	写真 マナスル登頂四十周年関係四枚 六一九	写真 総会で挨拶する村木会長 六一四	写真 K2 六一〇
写真 挨拶するアウディーズィオ氏、同夫人	写真 山研のテラスで 六一八	参加した追悼登山 六一三	六三四~六三六、六三八、六四一、六五〇
録	山の切手五枚(世界七大陸最高峰) 六一八	写真 穏やかな春日和に恵まれて六〇余人が	六〇九、六一六、六一八、六二三、六二三、
マナスル登頂四十周年記念展覧会主要出品目	写真 山本隊長に続いて各隊員が報告 六一八	写真 記念講演は由緒ある建物で開催 六一三	イラスト 宇都木慎一

山 651-	1999		5 • 2	20	(弗)	二.1里	四川	上100	配合 中,																										
写真(中央がチャルン峰(六五四六m)六二九図版(インターネット関係) 六二九氏	三百人の聴衆を前に講演するヒラ	気象図四枚	中澤眞二名誉会員	クライミングの潮流関係四枚	写真 福田宏年先生 六二八	山村正光 六二八	写真 三六名が集まった第三六回有志閑談会	長六八	写真 北壁ペアルートを説明する松原尚之隊	新たにする 六二七	写真 折れたピッケルの石突きを手に感慨を	峰	写真 小積ダキ岩峰上にて 後方は和久塚岩	写真 能高山頂に立った一四名の隊員 六二七	写真を恒例の山の歌の合唱が二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	側から眺める	写真 四八名の大パーティーで丹沢主脈を裏	写真 大ブナの前で樹と対話を楽しむ 六二七	図 ダウラギリI峰クライミングルート六二七	写真 ダウラギリI峰北西面 大蔵喜福六二七	写真 AAC総会関係二枚 坂下直枝 六二七	写真 高木支部長の音頭でバンザイ 六二六	写真 残雪を踏み分けて登った伏美岳 六二六	写真 クリシュナ・B・バルマ氏 六二六	写真 挨拶する斎藤新会長 六二六	を選出 伊藤 敞 六二六	写真(平成九年度の新会長以下理事・評議員)	写真 賑やかに華やかに、出版記念会 六二五	二	写真 中摩殿畑山頂で西会員のお祝いセレモ	写真 霧の中を歩けばシャクナゲも歓迎六二五	参加者	写真 天神平から谷川岳本峰に登頂した研修	写真 徳島和男氏 六二五	三枚                六二五
ホー ちゅう おり おり はい	福島支部 奥岳登山	自然保護委員会シンポジウム	<b>真 ダウラギリI峰登山隊関係三枚</b>	員	写真 今西さんを偲んで挨拶する渡邊兵力会	写真 新名誉会員 六三二	伊藤 敞 六三二	写真 平成九年度年次晩餐会関係五枚	図版 JACグッズ 六三一	写真 順調に生育しているラリグラス 六三一	写真 岐阜支部のハンラ山登山 六三一	写真 真昼岳山頂にて - 六三一	写真 石川支部創立五十周年 六三一	写真 95同期会·巻機山 六三二	写真 七ッ岳、三岩岳・きのこ山行 六三一	ン	写真 九七年度の新入会員オリエンテーショ	写真 平成九年度自然保護全国集会 六三一	係三枚             六三一	写真 第八次マッキンリー気象観測登山隊関	写真 東部天山山脈 竹田寛次 六三〇	写真 環太平洋一周環境調査登山隊 六三〇	写真 アルプスの秀峰メンヒ 六三〇	写真 第十四回全国支部懇談会 六三〇	写真 ダウラギリI峰 六三〇	写真 今井友之助先輩 六三〇	田辺 治 六三〇	写真 ABCキャンプよりK2を望む	表 三角点標石の顔の向き 六二九	図版 ヤルフン河源流ルート図 六二九	写真 宇奈月町立歴史民族資料館 六二九	写真 鬼ヶ城山頂で 福岡支部 六二九	岐阜支部 六二九	写真 藪こぎに心地よい汗を流した明神行	写真 栗駒山頂上 山形支部 六二九
写真       山形支部蔵王スキー       六三六         概念図とデータ       仰鳥帽子山       六三六	ョン 六三六	、 九七年度の新入会員のオリエンテ		写真 チベットにて 六三五	写真 一七七三番の「山内」のピッケル 六三五	写真 三水会 越生梅林 高田真哉 六三五	ージ	図版 インターネットホームページ接続イメ	写真 解説する杉本誠会員 六三五	六三五	図版 カンチェンジュンガ北面ルート概念図	写真 カンチェンジュンガ主峰 六三五	六三五	写真 挨拶する谷川太郎隊長と隊員たち	写真 JACK2登山隊の植樹等四枚 六三五	写真 上高地山研 六三四	写真 静岡支部新年会 六三四	写真 岐阜支部大ゾレ山 六三四	写真 三水会第三百六十八回現地集会 六三四	写真 吉沢一郎氏 六三四	写真 第三十五次南極観測隊二枚 六三四	写真 原生林の桃源郷で 猿山昌夫 六三三	われる丸木舟           六三三	写真 一九三四年のヘディン隊が残したと思	写真 大正二年の上高地二枚 六三三	写真 福岡支部四十周年記念雲南の旅 六三三	写真 山梨支部創立五十周年記念 六三三	写真 第十三回宮崎ウエストン祭 六三三	写真 大屋悌二さん - 六三三	写真 第三回全国大学山岳部監督会議 六三三	表 九七年秋マナスル登山一覧表 六三三	写真 明大マナスル登山隊関係二枚 六三三	六三一	図 熊本新聞 明治二十一年十二月二十五日	イラスト 小寺佳美 六三二、六四三、六四八
写真 別府湾リレー登山写真 木曾自然観察山行写真 秋田支部全国支部懇談会			写真 田口二郎会員	図版 火山ガス放出	写真 火山ガス関係二枚	概念図とデータ 戸来岳、苅尾山	写真 山研の自然エネルギー展	二枚	写真 松本市で開催されたUIAA総会関係	写真 大町山岳博物館前で	平巡り	データ 明神山、オボコンベ山、大雪山御鉢	写真 戸来岳山頂	写真 マッキンリーは悪天が続いた	写真 最高の瞬間、と語る続会員	会長	写真 赤坂、椎名君の追悼会で挨拶する斎藤	写真 第十回藤木祭関係二枚	写真 シシャパンマ峰第四キャンプ	写真 芦生の森	概念図とデータ 竜良山・白岳・御岳	概念図とデータ 天狗岩	写真 岐阜支部チョモランマ関係二枚	写真 国際医学会議関係三枚	写真 岐阜支部輝山関係二枚		写真 挨拶するネパールのシャルマ参事官	写真 挨拶する斎藤会長	写真 岩峰を抜けてウィルヘルム山へ	概念図とデータ 岩手山	概念図とデータ 烏ガ山	図2~5 トレーニング	図1 加齢による体力の変化	写真 新管理人の木村夫妻	写真 九州四支部の集い
六 六 四	六四二	六四二	六四二	六四	六四	六四	六四	六四	関係	六四〇	六四〇	御針	六四〇	六四〇	六四〇	六四〇	斎藤	六四〇	六四〇	六三九	六三九	六三九	六三九	六三九	六三八	六三八	官	六三八	六三七	六三七	六三七	六三七	六三七	六三六	六三六

写真 写真 写真 写真 写真 写真 概念図とデータ 黒富士、白山加賀禅定道 写真 岐阜支部山岳講演会 写真 写真 鎌倉の自宅でくつろぐ田口夫妻 写真 会長 概念図とデータ 蒜場山、笠ヶ岳、二ッ箭山 写真 カナダ山岳会総会でスピーチする斎藤 概念図とデータ 加無山 データ 平家岳、大崩山・湧塚・岩峰 写真 カヒルトナ氷河上 巨大な古代杉の写真 建設中のポカラ国際山岳博物館 クリンチ元アメリカ山岳会会長 冬富士でアイゼン歩行の訓練 祖母山頂の宮崎支部メンバー 高山植物のシンポジウム 岐阜支部雪岳山頂 アンナプルナ展望図 JACネパールトレッキング 崗嘎普松峰 学生部ブータンヒマラヤ関係三枚 エヴェレスト カナダ・ロッキー登山案内書など 原三角測點の説明碑 平成十年度年次晚餐会関係八枚 中華人民共和国チベット自治区 九八年度上期新入会員たち ガッシャブルムⅡ峰関係三枚 第一回秩父宮記念山岳賞関係三枚 ロックガーデン・トレイル、 江本嘉伸 江本嘉伸 村井 葵 黒法師 六四五 六四五 六四五 六四四 六四四 六四四 六四三 六四三 六四三 六四三 六四三 六四 六四五 六四四 六四四 六四四 六四三 六四三 六四六 六四五 六四五 六四五 六四五 六四四 六四四 六四三 六四二 六四二 六四 写真 ヒマラヤの撮影について語る藤田弘基 写真 写真 写真 クライマー・オズマン 八丁平、十方山、 データ 芦生の森、硫黄山

御座山 山、大無間山、雲仙普賢岳、焼石岳、光兎山、 地図 写真 データ 小豆島・栂岳、大久保山、水引入道 写真 風雪の目国内岳へ全員登頂 発電システム 図版 日本山岳会上高地山岳研究所ミニ水力 写真 ミニ水力発電関係二枚 イラスト 蜂谷益雄 山のイラスト通信・一人画展 豊田時男 六四六 写真 憧れのマッターホルン頂上で 分布図 わが支部とっておきの一山 メンジボ峰 ブータン 薪を集める子どもたち(フンザ) 中村 六四六~六五〇 保 六四六 六四六 六四七 六四七 六四七 六四七 六四七 六四六 六四七

写真 写真 データ 大笠山、双石山、十勝岳、 頂で 写真 越後支部員のニュージーランド 写真 マロリーがルートを開いた七五年前の 写真 全員雪にまみれて研修に励む ノースコルの風景 NHKの取材で登った三月の荒島岳山 線香を供える今西夫人 高所登山関係二枚 峰床山と 六四八 六四七 六四八 六四七 六四八 六四八

写真 渡邉玉枝さん 写真 ジョージ・マロリーとオデルの見た最 後の再現図 地図 ガンカー・プンスム峰周辺二枚 天気図三枚 写真 夏の甲斐駒ヶ岳、千丈岳より 由良川源流 六四九 六四九 六四九 六四八 六四八

> 六三八、六四二、六四五、六四八、六五〇 五、六二六、六三〇、六三一、六三三、六三五

八、六二〇、六二、六三、六三四、六二

(含む山岳) 六〇三、六〇四、六〇六、 六〇九、六二二、六一四、六一七、六

取立山、

由布岳、

屏風山

写真 脇坂順一氏ブライトホルン頂上で 上福根山、霊山、 データ 奥獅子吼山、瀧山、船上山、 三森山、鎌ヶ岳 大盡山、 六四九

図版 宮沢賢治の「経埋ムベキ山」と「四つ

六四六 六四六

三水会雨降山の頂上

第二十七回山岳史懇談会

写真 五二三kmのタクラマカン砂漠縦断公 写真 快晴の智異山頂上での記念撮影 山岳写真展 写真 アテネ市民文化センターで開催された 写真 大塚新会長はじめ理事たち イラスト 村上直温 の星座」 六四九~六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六五〇 六四九

その他・編集後記および訂正

編集室からお願い 四三、六四七~六五〇 六三二~六三二、六三四~六三七、六四一~六 九~六二、六二四、六二六、六二七、六二九、 原稿送付のお願い 原稿掲載について 編集後記·新会報編集委員 編集後記・会報の広告についてお願い 編集後記・会報の原稿についてお願い 会報原稿についてお願い 編集後記 六〇一、六〇七~六〇九、六一一 - 六一三、六一六、六一七、六一 細井澄子 六四八~六五〇 六八 六三 六三 六〇三 六三五 六一三

編集人

六〇一~六二五 六二六~六五〇 伊藤 村井 敞 葵

> 時の会員数は八百人、現在は六千人 のみずみずしさが読み取れます。当 佐美太郎(二十九歳)。ヴェッター るために会長制度が敷かれる一年前 なく古希を迎えます。社団法人にな に達しようとしています。 ホルン初登直後で、行間に新進気鋭 に誕生しました。初代編集人は浦松 一九三〇年創刊の 一山は、 間も

を汲み取ってください。 年報『山岳』から深遠な智慧の一端 果たしてきたと信じ、スタッフ一同 との心の掛け橋として、その使命を 毎月の編集に全力傾注しています。 『山岳』と併せて、古今東西、会員 山登りに浅知恵は禁物。「山」や 会報「山」は明治三十九年創刊の

ださい。 保管されています。 刊以来の会報が合本になって整理、 索引目録を作りました。 六五〇号を機に、恒例にしたがい、 併せてご利用く 図書室に創

### 日本山岳会会報 山 651号付録

1999年(平成11年)8月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 **〒102−0081** 

> 東京都千代田区四番町5-4 ビュウハイツ四番町 東京(03)3261-4433 東京 (03) 3261-4441

葵 村井 編集人 刷 株式会社 双陽社

発行者 大塚博美